

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 有価証券報告書の訂正報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の2第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成22年11月12日 |
| 【事業年度】 | 第88期（自平成21年4月1日至平成22年3月31日） |
| 【会社名】 | 日立工機株式会社 |
| 【英訳名】 | Hitachi Koki Co., Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 加藤 清 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区港南二丁目15番1号 |
| 【電話番号】 | 03-5783-0601（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 法務部長 尾木 克彦 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区港南二丁目15番1号 |
| 【電話番号】 | 03-5783-0601（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 法務部長 尾木 克彦 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） |

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

当社の連結子会社である Hitachi Power Tools Europe GmbH（所在国：ドイツ、事業内容：電動工具の販売。）において、不適切な取引及び会計処理を行っていたことが判明したことから、外部の専門家で構成する調査委員会を設置し全容解明を行った。その結果、連結業績に与える影響額（過大計上額の純額）は、当社第84期（自平成17年4月1日至平成18年3月31日）から第89期（自平成22年4月1日至平成23年3月31日）第1四半期（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）までの累計で売上高9,620百万円、営業利益4,468百万円、純利益6,019百万円となった。なお、このうち純利益に与える影響額について、本件架空売上に対して支払ったドイツのVAT（Value Added Tax（付加価値税））のドイツ税務当局による還付が確定していないため、費用として各期に計上する会計処理で算出し、還付が確定した段階で利益計上することとしている。当該期間に支払い、費用として計上したVATの累計額は1,691百万円である。

また、過去において判明はしていたものの重要性がないため遡及して会計処理の訂正をしていなかった事項及び今回新たに判明した軽微な事象（売上計上の期ずれ等）にかかる訂正（累計で売上高1,111百万円、営業利益200百万円、純利益35百万円）も、あわせて行うこととした。

これらにより、当社が過去に提出した第88期（自平成21年4月1日至平成22年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部を訂正する必要が生じたので、これを訂正するため、金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき有価証券報告書の訂正報告書を提出する。

連結財務諸表及び財務諸表の記載内容に係る訂正箇所については、XBRLの修正も行ったので、併せて訂正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む。）を提出する。

なお、訂正後の連結財務諸表及び財務諸表については、第88期（自平成21年4月1日至平成22年3月31日）は新日本有限責任監査法人により、第87期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）は有限責任あずさ監査法人により監査を受け、それぞれその監査報告書を添付している。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

4 関係会社の状況

5 従業員の状況

第2 事業の状況

1 業績等の概要

2 生産、受注及び販売の状況

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結株主資本等変動計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(連結貸借対照表関係)

(連結損益計算書関係)

(金融商品関係)

(税効果会計関係)

(セグメント情報)

(1株当たり情報)

(2) その他

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

貸借対照表

損益計算書

株主資本等変動計算書

重要な会計方針

注記事項

(有価証券関係)

(税効果会計関係)

(1株当たり情報)

附属明細表

(2)主な資産及び負債の内容

3【訂正箇所】

訂正箇所は____線を付して表示している。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

| 回次 決算年月 | 第84期 平成18年3月 | 第85期 平成19年3月 | 第86期 平成20年3月 | 第87期 平成21年3月 | 第88期 平成22年3月 |
|-------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| (1) 連結経営指標等 | | | | | |
| 売上高 (百万円) | 142,009 | 153,013 | 174,756 | 142,013 | 119,166 |
| 経常利益 (百万円) | 15,054 | 19,083 | 22,483 | 10,012 | 5,169 |
| 当期純利益 (百万円) | 11,501 | 13,069 | 15,561 | 5,034 | 3,333 |
| 純資産額 (百万円) | 107,413 | 115,952 | 121,887 | 112,275 | 112,141 |
| 総資産額 (百万円) | 135,741 | 154,143 | 167,501 | 152,553 | 148,982 |
| 1株当たり純資産額 (円) | 1,021.78 | 1,113.69 | 1,180.02 | 1,097.81 | 1,096.75 |
| 1株当たり当期純利益金額 (円) | 108.92 | 125.71 | 150.90 | 49.66 | 32.88 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円) | 108.60 | 125.47 | 150.74 | 49.66 | 32.88 |
| 自己資本比率 (%) | 79.1 | 74.6 | 72.1 | 73.0 | 74.6 |
| 自己資本利益率 (%) | 11.4 | 11.8 | 13.2 | 4.3 | 3.0 |
| 株価収益率 (倍) | 18.1 | 14.3 | 8.4 | 16.3 | 30.6 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | 9,222 | 16,308 | 7,092 | 10,098 | 10,986 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | 4,662 | 8,455 | 6,612 | 1,916 | 1,327 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | 1,435 | 4,662 | 1,750 | 599 | 1,239 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 (百万円) | 27,389 | 30,975 | 29,718 | 16,688 | 25,120 |
| 従業員数 (人) (外、臨時雇用者数) | 4,464 (1,347) | 4,670 (1,343) | 5,122 (1,585) | 4,845 (1,349) | 4,653 (1,053) |
| (2) 提出会社の経営指標等 | | | | | |
| 売上高 (百万円) | 72,880 | 78,202 | 83,569 | 69,048 | 49,306 |
| 経常利益 (百万円) | 11,719 | 16,016 | 17,872 | 11,655 | 3,774 |
| 当期純利益 (百万円) | 9,783 | 10,094 | 12,282 | 8,136 | 3,464 |
| 資本金 (百万円) | 17,813 | 17,813 | 17,813 | 17,813 | 17,813 |
| 発行済株式総数 (千株) | 123,072 | 123,072 | 123,072 | 123,072 | 123,072 |
| 純資産額 (百万円) | 102,745 | 105,296 | 110,836 | 111,974 | 112,964 |
| 総資産額 (百万円) | 117,930 | 125,228 | 131,057 | 123,010 | 122,991 |
| 1株当たり純資産額 (円) | 977.35 | 1,019.69 | 1,082.84 | 1,104.42 | 1,114.04 |
| 1株当たり配当額 (円) | 24.00 | 38.00 | 45.00 | 41.00 | 24.00 |
| (うち、1株当たり中間配当額) (円) | (10.00) | (15.00) | (20.00) | (24.00) | (12.00) |
| 1株当たり当期純利益金額 (円) | 92.55 | 97.09 | 119.11 | 80.26 | 34.17 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円) | 92.28 | 96.91 | 118.98 | 80.25 | 34.17 |
| 自己資本比率 (%) | 87.1 | 84.1 | 84.6 | 91.0 | 91.8 |
| 自己資本利益率 (%) | 9.9 | 9.7 | 11.4 | 7.3 | 3.1 |
| 株価収益率 (倍) | 21.4 | 18.6 | 10.7 | 10.1 | 29.5 |
| 配当性向 (%) | 25.9 | 39.1 | 37.8 | 51.1 | 70.2 |
| 従業員数 (人) (外、臨時雇用者数) | 1,677 (417) | 1,658 (467) | 1,622 (429) | 1,480 (282) | 1,406 (151) |

- (注) 1. 売上高は、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)を含まない。
2. 平成19年3月期より、Carat International B.V.及びHitachi Power Tools de Mexico, S.A. de C.V.を連結子会社に含めた。
 3. 平成20年3月期より、(株)日工タナカエンジニアリング及びHitachi Power Tools (Thailand) Co., Ltd.を連結子会社に含めた。
 4. 平成21年3月期より、Hitachi Power Tools Panama S.A.を連結子会社に含めた。
 5. 平成22年3月期より、L.L.C. Hitachi Power Tools RUS及びHitachi Koki do Brasil Ltda.を連結子会社に含めた。
 6. 平成19年3月期より株主への速やかな利益還元とサービス向上を目的として、四半期配当を導入している。平成19年3月期の1株当たり配当金額38円の内訳は、第1四半期配当の7円、中間(第2四半期)配当の8円及び第3四半期配当の8円並びに期末(第4四半期)配当の15円である。
 7. 平成20年3月期の1株当たり配当金額45円の内訳は、第1四半期配当の10円、中間(第2四半期)配当の10円及び第3四半期配当の10円並びに期末(第4四半期)配当の15円である。期末(第4四半期)配当額15円は、特別配当5円を含んでいる。
 8. 平成21年3月期の1株当たり配当金額41円の内訳は、第1四半期配当の11円、中間(第2四半期)配当の13円及び第3四半期配当の11円並びに期末(第4四半期)配当の6円である。中間(第2四半期)配当額13円は、記念配当2円を含んでいる。
 9. 平成22年3月期の1株当たり配当金額24円の内訳は、第1四半期配当の6円、中間(第2四半期)配当の6円及び第3四半期配当の6円並びに期末(第4四半期)配当の6円である。
 10. 平成19年3月期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用している。

(訂正後)

| 回次 決算年月 | 第84期 平成18年3月 | 第85期 平成19年3月 | 第86期 平成20年3月 | 第87期 平成21年3月 | 第88期 平成22年3月 |
|-------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| (1) 連結経営指標等 | | | | | |
| 売上高 (百万円) | 141,482 | 151,935 | 172,876 | 139,203 | 115,000 |
| 経常利益 (百万円) | 14,733 | 18,612 | 21,460 | 8,884 | 3,638 |
| 当期純利益 (百万円) | 11,095 | 12,701 | 14,229 | 3,530 | 967 |
| 純資産額 (百万円) | 106,994 | 115,112 | 119,734 | 109,036 | 106,732 |
| 総資産額 (百万円) | 135,274 | 153,351 | 165,438 | 149,675 | 144,347 |
| 1株当たり純資産額 (円) | 1,017.79 | 1,101.68 | 1,159.00 | 1,065.85 | 1,043.41 |
| 1株当たり当期純利益金額 (円) | 105.05 | 122.17 | 137.99 | 34.82 | 9.54 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円) | 104.75 | 121.94 | 137.84 | 34.82 | 9.54 |
| 自己資本比率 (%) | 79.1 | 74.4 | 71.7 | 72.2 | 73.3 |
| 自己資本利益率 (%) | 11.0 | 11.5 | 12.2 | 3.1 | 0.9 |
| 株価収益率 (倍) | 19.0 | 14.8 | 9.2 | 23.3 | 105.6 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | 9,222 | 16,308 | 7,092 | 10,275 | 10,934 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | 4,662 | 8,455 | 6,612 | 1,916 | 1,327 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | 1,435 | 4,662 | 1,750 | 776 | 1,188 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 (百万円) | 27,389 | 30,975 | 29,718 | 16,688 | 25,120 |
| 従業員数 (外、臨時雇用者数) (人) | 4,472 (1,347) | 4,684 (1,345) | 5,140 (1,594) | 4,868 (1,356) | 4,670 (1,070) |
| (2) 提出会社の経営指標等 | | | | | |
| 売上高 (百万円) | 72,443 | 78,240 | 83,186 | 69,048 | 49,306 |
| 経常利益 (百万円) | 11,573 | 15,927 | 17,869 | 11,800 | 3,774 |
| 当期純利益 (百万円) | 9,344 | 9,779 | 11,173 | 7,086 | 1,168 |
| 資本金 (百万円) | 17,813 | 17,813 | 17,813 | 17,813 | 17,813 |
| 発行済株式総数 (千株) | 123,072 | 123,072 | 123,072 | 123,072 | 123,072 |
| 純資産額 (百万円) | 102,307 | 104,543 | 108,974 | 109,062 | 107,755 |
| 総資産額 (百万円) | 117,491 | 124,475 | 129,402 | 121,283 | 119,927 |
| 1株当たり純資産額 (円) | 973.17 | 1,012.40 | 1,064.65 | 1,075.70 | 1,062.68 |
| 1株当たり配当額 (円) | 24.00 | 38.00 | 45.00 | 41.00 | 24.00 |
| (うち、1株当たり中間配当額) (円) | (10.00) | (15.00) | (20.00) | (24.00) | (12.00) |
| 1株当たり当期純利益金額 (円) | 88.37 | 94.07 | 108.35 | 69.90 | 11.52 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円) | 88.11 | 93.89 | 108.23 | 69.89 | 11.52 |
| 自己資本比率 (%) | 87.1 | 84.0 | 84.2 | 89.9 | 89.9 |
| 自己資本利益率 (%) | 9.5 | 9.5 | 10.5 | 6.5 | 1.1 |
| 株価収益率 (倍) | 22.5 | 19.2 | 11.7 | 11.6 | 87.4 |
| 配当性向 (%) | 27.2 | 40.4 | 41.5 | 58.7 | 208.2 |
| 従業員数 (外、臨時雇用者数) (人) | 1,677 (417) | 1,658 (467) | 1,622 (429) | 1,480 (282) | 1,406 (151) |

- (注) 1. 売上高は、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)を含まない。
2. 平成19年3月期より、Carat International B.V.及びHitachi Power Tools de Mexico, S.A. de C.V.を連結子会社に含めた。
 3. 平成20年3月期より、(株)日工タナカエンジニアリング及びHitachi Power Tools (Thailand) Co., Ltd.を連結子会社に含めた。
 4. 平成21年3月期より、Hitachi Power Tools Panama S.A.を連結子会社に含めた。
 5. 平成22年3月期より、L.L.C. Hitachi Power Tools RUS及びHitachi Koki do Brasil Ltda.を連結子会社に含めた。
 6. 平成19年3月期より株主への速やかな利益還元とサービス向上を目的として、四半期配当を導入している。平成19年3月期の1株当たり配当金額38円の内訳は、第1四半期配当の7円、中間(第2四半期)配当の8円及び第3四半期配当の8円並びに期末(第4四半期)配当の15円である。
 7. 平成20年3月期の1株当たり配当金額45円の内訳は、第1四半期配当の10円、中間(第2四半期)配当の10円及び第3四半期配当の10円並びに期末(第4四半期)配当の15円である。期末(第4四半期)配当額15円は、特別配当5円を含んでいる。
 8. 平成21年3月期の1株当たり配当金額41円の内訳は、第1四半期配当の11円、中間(第2四半期)配当の13円及び第3四半期配当の11円並びに期末(第4四半期)配当の6円である。中間(第2四半期)配当額13円は、記念配当2円を含んでいる。
 9. 平成22年3月期の1株当たり配当金額24円の内訳は、第1四半期配当の6円、中間(第2四半期)配当の6円及び第3四半期配当の6円並びに期末(第4四半期)配当の6円である。
 10. 平成19年3月期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用している。

4【関係会社の状況】

(訂正前)

| 名称 | 住所 | 資本金 | 主要な事業の内容 | 議決権の所有割合(%) | 関係内容等 |
|--------------------------------------|------------|------------------|---------------------------|-------------------------------|--|
| (親会社) | | | | | |
| (株)日立製作所(注)2 | 東京都千代田区 | 408,810 百万円 | 電気機械器具等の製造及び販売 | 被所有 51.3 (11.0) (注)3 | 当社が資金を預け入れている。当社の監査役2名は、それぞれ(株)日立製作所の取締役、従業員を兼任している。 |
| (連結子会社) | | | | | |
| (株)日立工機原町 | 福島県南相馬市 | 400 百万円 | 電動工具の製造販売 | 100.0 | 当社が電動工具、木工機械等を購入している。役員の兼任3人 |
| (株)日工タナカエンジニアリング | 千葉県習志野市 | 490 百万円 | エンジン工具の製造販売 | 100.0 | 当社がエンジン工具を購入している。役員の兼任3人、出向2人 |
| 三京ダイヤモンド工業(株) | 神奈川県海老名市 | 94 百万円 | ダイヤモンド工具(電動工具用アクセサリ)の製造販売 | 100.0 | 当社がダイヤモンド工具を購入している。役員の兼任4人、出向2人 |
| 日立工機販売(株)(注)5 | 東京都大田区 | 450 百万円 | 電動工具等の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任4人、出向1人 |
| 日工ソリューションズ(株) | 茨城県ひたちなか市 | 240 百万円 | 情報技術サービス、印刷及び受託業務 | 100.0 | 当社が情報システム管理その他の各種業務を委託している。役員の兼任4人、転籍1人 |
| Hitachi Koki (Malaysia) Sdn. Bhd. | マレーシア | 25,045 千Mドル | 電動工具の製造販売 | 100.0 (46.1) (注)4 | 当社が電動工具の生産用部品を供給している。役員の兼任3人、出向2人 |
| 広東日立工機有限公司 | 広東省 | 20,500 千米ドル | 電動工具の製造販売 | 98.6 (3.1) (注)4 | 当社の電動工具を製造、販売している。役員の兼任4人、出向1人 |
| 福建日立工機有限公司 | 福建省 | 22,500 千米ドル | 電動工具の製造販売 | 95.1 (2.4) (注)4 | 当社の電動工具を製造、販売している。役員の兼任3人、出向2人 |
| Hitachi Koki (Singapore) Pte. Ltd. | シンガポール | 13,560 千Sドル | 電動工具の販売 | 93.3 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任2人、出向1人 |
| Hitachi Koki Asia Co., Ltd. | 香港 | 200,000 千HKドル | 電動工具の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任2人、出向1人 |
| Hitachi Koki U.S.A., Ltd. (注)6 | 米国(ジョージア州) | 120,000 千米ドル | 電動工具の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任3人 |
| Hitachi Power Tools Netherlands B.V. | オランダ | 33,596 千ユーロ | 電動工具の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任2人、出向1人 |
| Hitachi Power Tools Oesterreich GmbH | オーストリア | 29,000 千ユーロ | 電動工具の販売 | 100.0 (100.0) | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任3人、出向1人 |
| Hitachi Power Tools (U.K.) Ltd. | 英国 | 4,700 千英ポンド | 電動工具の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任2人、出向1人 |
| その他36社 | | | | | |
| (非連結子会社)1社 | | | | | |
| (関連会社)1社 | | | | | |

- (注) 1. 名称欄 印は、特定子会社に該当している。
2. 有価証券報告書を提出している。
3. () は間接被所有割合(内数)である。
4. () は間接所有割合(内数)である。
5. 日立工機販売㈱については、売上高(連結会社相互間の内部売上を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えている。

日立工機販売㈱

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 主要な損益情報等 | (1) 売上高 | 12,254百万円 |
| | (2) 営業損失 | 477百万円 |
| | (3) 経常損失 | 464百万円 |
| | (4) 当期純損失 | 471百万円 |
| | (5) 純資産額 | -470百万円 |
| | (6) 総資産額 | 6,276百万円 |

6. Hitachi Koki U.S.A., Ltd.については、売上高(連結会社相互間の内部売上を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えている。

Hitachi Koki U.S.A., Ltd.

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 主要な損益情報等 | (1) 売上高 | 22,427百万円 |
| | (2) 営業損失 | 1,308百万円 |
| | (3) 経常損失 | 1,262百万円 |
| | (4) 当期純損失 | 1,230百万円 |
| | (5) 純資産額 | 10,376百万円 |
| | (6) 総資産額 | 17,980百万円 |

(訂正後)

| 名称 | 住所 | 資本金 | 主要な事業の内容 | 議決権の所有割合(%) | 関係内容等 |
|--------------------------------------|------------|------------------|---------------------------|-------------------------------|--|
| (親会社) | | | | | |
| (株)日立製作所(注)2 | 東京都千代田区 | 408,810 百万円 | 電気機械器具等の製造及び販売 | 被所有 51.3 (11.0) (注)3 | 当社が資金を預け入れている。当社の監査役2名は、それぞれ(株)日立製作所の取締役、従業員を兼任している。 |
| (連結子会社) | | | | | |
| (株)日立工機原町 | 福島県南相馬市 | 400 百万円 | 電動工具の製造販売 | 100.0 | 当社が電動工具、木工機械等を購入している。役員の兼任3人 |
| (株)日工タナカエンジニアリング | 千葉県習志野市 | 490 百万円 | エンジン工具の製造販売 | 100.0 | 当社がエンジン工具を購入している。役員の兼任3人、出向2人 |
| 三京ダイヤモンド工業(株) | 神奈川県海老名市 | 94 百万円 | ダイヤモンド工具(電動工具用アクセサリ)の製造販売 | 100.0 | 当社がダイヤモンド工具を購入している。役員の兼任4人、出向2人 |
| 日立工機販売(株)(注)5 | 東京都大田区 | 450 百万円 | 電動工具等の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任4人、出向1人 |
| 日工ソリューションズ(株) | 茨城県ひたちなか市 | 240 百万円 | 情報技術サービス、印刷及び受託業務 | 100.0 | 当社が情報システム管理その他の各種業務を委託している。役員の兼任4人、転籍1人 |
| Hitachi Koki (Malaysia) Sdn. Bhd. | マレーシア | 25,045 千Mドル | 電動工具の製造販売 | 100.0 (46.1) (注)4 | 当社が電動工具の生産用部品を供給している。役員の兼任3人、出向2人 |
| 広東日立工機有限公司 | 広東省 | 20,500 千米ドル | 電動工具の製造販売 | 98.6 (3.1) (注)4 | 当社の電動工具を製造、販売している。役員の兼任4人、出向1人 |
| 福建日立工機有限公司 | 福建省 | 22,500 千米ドル | 電動工具の製造販売 | 95.1 (2.4) (注)4 | 当社の電動工具を製造、販売している。役員の兼任3人、出向2人 |
| Hitachi Koki (Singapore) Pte. Ltd. | シンガポール | 13,560 千Sドル | 電動工具の販売 | 93.3 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任2人、出向1人 |
| Hitachi Koki Asia Co., Ltd. | 香港 | 200,000 千HKドル | 電動工具の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任2人、出向1人 |
| Hitachi Koki U.S.A., Ltd. (注)6 | 米国(ジョージア州) | 120,000 千米ドル | 電動工具の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任3人 |
| Hitachi Power Tools Europe GmbH(注)7 | ドイツ | 5,112 千ユーロ | 電動工具の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任2人、出向1人 |
| Hitachi Power Tools Netherlands B.V. | オランダ | 33,596 千ユーロ | 電動工具の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任2人、出向1人 |
| Hitachi Power Tools Oesterreich GmbH | オーストリア | 29,000 千ユーロ | 電動工具の販売 | 100.0 (100.0) | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任3人、出向1人 |
| Hitachi Power Tools (U.K.) Ltd. | 英国 | 4,700 千英ポンド | 電動工具の販売 | 100.0 | 当社の電動工具を販売している。役員の兼任2人、出向1人 |
| その他35社 | | | | | |
| (非連結子会社)1社 | | | | | |
| (関連会社)1社 | | | | | |

- (注) 1. 名称欄 印は、特定子会社に該当している。
2. 有価証券報告書を提出している。
3. ()は間接被所有割合(内数)である。
4. ()は間接所有割合(内数)である。
5. 日立工機販売(株)については、売上高(連結会社相互間の内部売上を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えている。

日立工機販売(株)

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 主要な損益情報等 | (1) 売上高 | 12,254百万円 |
| | (2) 営業損失 | 477百万円 |
| | (3) 経常損失 | 464百万円 |
| | (4) 当期純損失 | 471百万円 |
| | (5) 純資産額 | -470百万円 |
| | (6) 総資産額 | 6,276百万円 |

6. Hitachi Koki U.S.A., Ltd.については、売上高(連結会社相互間の内部売上を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えている。

Hitachi Koki U.S.A., Ltd.

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 主要な損益情報等 | (1) 売上高 | 22,427百万円 |
| | (2) 営業損失 | 1,308百万円 |
| | (3) 経常損失 | 1,262百万円 |
| | (4) 当期純損失 | 1,230百万円 |
| | (5) 純資産額 | 10,376百万円 |
| | (6) 総資産額 | 17,980百万円 |

7. 債務超過会社である。なお、債務超過の金額は、平成22年3月末時点で3,926百万円である。

5【従業員の状況】

(訂正前)

(1) 連結会社の状況

(平成22年3月31日現在)

| 事業の種類別セグメントの名称 | 従業員数(人) |
|----------------|--------------|
| 電動工具 | 4,522(1,024) |
| ライフサイエンス機器 | 131(29) |
| 合計 | 4,653(1,053) |

(注) 1. 従業員数は就業人員数(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。)であり、臨時従業員等の数は()内に期末人員を外数で記載している。なお、年間の平均臨時従業員等の数は1,008人(電動工具982人、ライフサイエンス機器25人)である。

2. 臨時従業員等には、臨時員、パートタイマー、嘱託、派遣社員等を含んでいる。

(訂正後)

(1) 連結会社の状況

(平成22年3月31日現在)

| 事業の種類別セグメントの名称 | 従業員数(人) |
|----------------|--------------|
| 電動工具 | 4,539(1,041) |
| ライフサイエンス機器 | 131(29) |
| 合計 | 4,670(1,070) |

(注) 1. 従業員数は就業人員数(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。)であり、臨時従業員等の数は()内に期末人員を外数で記載している。なお、年間の平均臨時従業員等の数は1,020人(電動工具995人、ライフサイエンス機器25人)である。

2. 臨時従業員等には、臨時員、パートタイマー、嘱託、派遣社員等を含んでいる。

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(訂正前)

(1)業績

当連結会計年度の経済状況については、平成20年後半に急激かつ大幅に悪化した景気を立て直すべく各国が景気刺激策を打ち出し実行した結果、国によってばらつきはあるが、新興国を中心に概ね景気は下げ止まり、回復の兆しがみえてきた。しかしながら、当社グループの主要市場である日米地域における失業率の高止まりや所得の伸び悩みによる停滞、東欧における景気の低迷、さらには為替も円高で推移するなど、当社グループにとっては厳しい経営環境となった。

このような状況の中で当社グループは、集客力のあるホームセンターや大手量販店などの取引拡大、新興国での新たな顧客獲得などに努め、平成20年度第4四半期を底として西欧・豪州などで概ね業績を回復させ、ロシアでも回復の兆しがあらわれてきた。しかしながら、米国や日本で、長引く住宅投資の低迷に大きく影響を受けたことや、東欧や中東の業績が低水準で推移したことなどから、売上高は前年を下回った。

収益面では、徹底した原価低減に加え、中国工場への生産シフトを進めるなど、コストの削減及び収益力の強化に努めたが、売上が減少したことなどにより、大幅な減益となった。

その結果通期での当期連結業績は、売上高1,191億6千6百万円（前期比16%減）、営業利益51億8千4百万円（前期比58%減）、経常利益51億6千9百万円（前期比48%減）、当期純利益33億3千3百万円（前期比34%減）となった。

セグメント別の業績は次のとおりである。

〔事業の種類別セグメント〕

電動工具部門においては、日本では、リチウムイオン電池搭載のコードレス工具の拡販や新規販売ルートの開拓などに努めたが、住宅市場の冷え込みや設備投資の低迷などの影響を受け、売上高は前期比12%の減少となった。

北米地域では、ホームセンタールートのアライアンス強化や大手量販店の新規開拓などに積極的に取り組んだが、低水準で停滞している米国の住宅投資などの影響を受け、売上高は前期比15%の減少となった。

欧州地域では、ドイツ、フランスなどで大手ホームセンターとの取引拡大やロシア、ドイツでエンジン工具の拡販に努めたものの、東欧で厳しい状況が続いたことや為替の影響などから、売上高は前期比21%の減少となった。

アジア、その他の地域では、インド、豪州などで現地通貨ベースの売上は比較的順調に推移したが、中東経済の急激な悪化や為替の影響を受け、売上高は前期比19%の減少となった。

その結果当部門の業績は、売上高1,133億8千8百万円（前期比17%減）、営業利益35億4千6百万円（前期比67%減）となった。

ライフサイエンス機器部門においては、日本では、設備投資が低迷するなど厳しい状況が続いたが、期末にかけて大学・官公庁研究施設の需要が活発になった。海外では、新製品の投入効果やワクチンメーカー向け大形超遠心機の積極拡販などから売上は堅調に推移し、業績を底上げすることができた。

その結果当部門の業績は、売上高57億7千8百万円（前期比3%増）、営業利益16億3千8百万円（前期比9%増）となり、営業利益率をさらに高めることができた。

〔所在地別セグメント〕

日本では、電動工具部門において住宅市場の冷え込みや設備投資の低迷などの影響を受け、売上高は401億1千9百万円（前年度比12%減）となり、営業利益は1億9千万円（前年度比98%減）となった。

アジア地域では、電動工具部門において中東経済の急激な悪化や為替の影響を受け、売上高は74億7千5百万円（前年度比26%減）となり、営業利益は31億7千1百万円（前年度比27%減）となった。

ヨーロッパ地域では、電動工具部門において東欧で厳しい状況が続いたことや為替の影響を受けたことなどから、売上高は435億2千4百万円（前年度比21%減）となり、営業損失は5億2千4百万円（前年度営業利益7億7千2百万円）となった。

北アメリカ地域では、電動工具部門において低水準で停滞している米国の住宅投資などの影響を受け、売上高は220億7千5百万円（前年度比13%減）となり、営業損失は13億8百万円（前年度営業利益2億1千3百万円）となった。

その他の地域では、電動工具部門において現地通貨ベースでは比較的順調に推移したものの、為替の影響を受けたことにより、売上高は59億7千2百万円（前年度比横ばい）となったが、営業利益は7千1百万円（前年度比70%減）となった。

(2) キャッシュ・フロー

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローについては、税金等調整前当期純利益60億4千万円や棚卸資産の減少などにより、109億8千6百万円の収入となった。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、設備投資などにより、13億2千7百万円の支出となった。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払24億3千6百万円などにより、12億3千9百万円の支出となった。

以上の結果、現金及び現金同等物期末残高は、前連結会計年度末残高から84億3千1百万円増加し、251億2千万円となった。

(訂正後)

(1) 業績

当連結会計年度の経済状況については、平成20年後半に急激かつ大幅に悪化した景気を立て直すべく各国が景気刺激策を打ち出し実行した結果、国によってばらつきはあるが、新興国を中心に概ね景気は下げ止まり、回復の兆しがみえてきた。しかしながら、当社グループの主要市場である日米地域における失業率の高止まりや所得の伸び悩みによる停滞、東欧における景気の低迷、さらには為替も円高で推移するなど、当社グループにとっては厳しい経営環境となった。

このような状況の中で当社グループは、集客力のあるホームセンターや大手量販店などの取引拡大、新興国での新たな顧客獲得などに努め、平成20年度第4四半期を底として西欧・豪州などで概ね業績を回復させ、ロシアでも回復の兆しがあらわれてきた。しかしながら、米国や日本で、長引く住宅投資の低迷に大きく影響を受けたことや、東欧や中東の業績が低水準で推移したことなどから、売上高は前年を下回った。

収益面では、徹底した原価低減に加え、中国工場への生産シフトを進めるなど、コストの削減及び収益力の強化に努めたが、売上が減少したことなどにより、大幅な減益となった。

その結果通期での当期連結業績は、売上高1,150億円(前期比17%減)、営業利益36億3千7百万円(前期比67%減)、経常利益36億3千8百万円(前期比59%減)、当期純利益9億6千7百万円(前期比73%減)となった。

セグメント別の業績は次のとおりである。

〔事業の種類別セグメント〕

電動工具部門においては、日本では、リチウムイオン電池搭載のコードレス工具の拡販や新規販売ルートの開拓などに努めたが、住宅市場の冷え込みや設備投資の低迷などの影響を受け、売上高は前期比12%の減少となった。

北米地域では、ホームセンタールートのアライアンス強化や大手量販店の新規開拓などに積極的に取り組んだが、低水準で停滞している米国の住宅投資などの影響を受け、売上高は前期比16%の減少となった。

欧州地域では、フランスなどで大手ホームセンターとの取引拡大やロシアなどでエンジン工具の拡販に努めたものの、東欧で厳しい状況が続いたことや為替の影響などから、売上高は前期比24%の減少となった。

アジア、その他の地域では、インド、豪州などで現地通貨ベースの売上は比較的順調に推移したが、中東経済の急激な悪化や為替の影響を受け、売上高は前期比19%の減少となった。

その結果当部門の業績は、売上高1,092億2千2百万円(前期比18%減)、営業利益19億9千9百万円(前期比79%減)となった。

ライフサイエンス機器部門においては、日本では、設備投資が低迷するなど厳しい状況が続いたが、期末にかけて大学・官公庁研究施設の需要が活発になった。海外では、新製品の投入効果やワクチンメーカー向け大型超遠心機の積極拡販などから売上は堅調に推移し、業績を底上げすることができた。

その結果当部門の業績は、売上高57億7千8百万円(前期比3%増)、営業利益16億3千8百万円(前期比9%増)となり、営業利益率をさらに高めることができた。

〔所在地別セグメント〕

日本では、電動工具部門において住宅市場の冷え込みや設備投資の低迷などの影響を受け、売上高は401億1千9百万円(前年度比12%減)となり、営業利益は1億9千万円(前年度比98%減)となった。

アジア地域では、電動工具部門において中東経済の急激な悪化や為替の影響を受け、売上高は73億8千3百万円(前年度比26%減)となり、営業利益は31億6千万円(前年度比27%減)となった。

ヨーロッパ地域では、電動工具部門において東欧で厳しい状況が続いたことや為替の影響を受けたことなどから、売上高は398億1千万円(前年度比24%減)となり、営業損失は18億9千3百万円(前年度営業損失1億6千万円)となった。

北アメリカ地域では、電動工具部門において低水準で停滞している米国の住宅投資などの影響を受け、売上高は217億1千4百万円(前年度比14%減)となり、営業損失は13億9千1百万円(前年度営業利益2億1千3百万円)となった。

その他の地域では、電動工具部門において現地通貨ベースでは比較的順調に推移したものの、為替の影響を受けたことにより、売上高は59億7千2百万円(前年度比横ばい)となったが、営業利益は7千1百万円(前年度比70%減)となった。

(2) キャッシュ・フロー

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローについては、税金等調整前当期純利益38億1千万円や棚卸資産の減少などにより、109億3千4百万円の収入となった。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、設備投資などにより、13億2千7百万円の支出となった。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払24億3千6百万円などにより、11億8千8百万円の支出となった。

以上の結果、現金及び現金同等物期末残高は、前連結会計年度末残高から84億3千1百万円増加し、251億2千万円となった。

2【生産、受注及び販売の状況】

(訂正前)

当社グループの生産・販売品目は広範囲かつ多種多様であり、同種の製品であっても、構造、形式等は必ずしも一様ではなく、また連結ベースでは受注生産形態をとらない製品も多いため、連結ベースでは販売実績のみを記載し、生産及び受注については当社の状況を示している。

(1) 販売実績

当連結会計年度における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりである。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 販売実績(百万円) | 前年度比(%) |
|----------------|-----------|---------|
| 電動工具 | 113,388 | -16.9 |
| ライフサイエンス機器 | 5,778 | +3.4 |
| 合計 | 119,166 | -16.1 |

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれていない。

(訂正後)

当社グループの生産・販売品目は広範囲かつ多種多様であり、同種の製品であっても、構造、形式等は必ずしも一様ではなく、また連結ベースでは受注生産形態をとらない製品も多いため、連結ベースでは販売実績のみを記載し、生産及び受注については当社の状況を示している。

(1) 販売実績

当連結会計年度における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりである。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 販売実績(百万円) | 前年度比(%) |
|----------------|-----------|---------|
| 電動工具 | 109,222 | -18.3 |
| ライフサイエンス機器 | 5,778 | +3.4 |
| 合計 | 115,000 | -17.4 |

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれていない。

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

当連結会計年度の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析は、以下のとおりである。

なお、本項に記載した事項のうち、将来に関する事項については、当連結会計年度末現在において判断したものである。

(2) 当連結会計年度の経営成績の分析

集客力のあるホームセンターや大手量販店などの取引拡大、新興国での新たな顧客獲得などに努め、平成20年度第4四半期を底として西欧・豪州などで概ね業績を回復させ、ロシアでも回復の兆しがあらわれてきた。しかしながら、米国や日本で、長引く住宅投資の低迷に大きく影響を受けたことや、東欧や中東の業績が低水準で推移したことなどから、売上高は前年を下回った。

収益面では、徹底した原価低減に加え、中国工場への生産シフトを進めるなど、コストの削減及び収益力の強化に努めたが、売上が減少したことなどにより、大幅な減益となった。

その結果通期での当期連結業績は、売上高1,191億6千6百万円（前期比16%減）、営業利益51億8千4百万円（前期比58%減）、経常利益51億6千9百万円（前期比48%減）、当期純利益33億3千3百万円（前期比34%減）となった。

当連結会計年度における部門別の状況は、以下のとおりである。

電動工具部門においては、日本では、リチウムイオン電池搭載のコードレス工具の拡販や新規販売ルートの開拓などに努めたが、住宅市場の冷え込みや設備投資の低迷などの影響を受け、売上高は前期比12%の減少となった。

北米地域では、ホームセンタールートのアライアンス強化や大手量販店の新規開拓などに積極的に取り組んだが、低水準で停滞している米国の住宅投資などの影響を受け、売上高は前期比15%の減少となった。

欧州地域では、ドイツ、フランスなどで大手ホームセンターとの取引拡大やロシア、ドイツでエンジン工具の拡販に努めたものの、東欧で厳しい状況が続いたことや為替の影響などから、売上高は前期比21%の減少となった。

アジア、その他の地域では、インド、豪州などで現地通貨ベースの売上は比較的順調に推移したが、中東経済の急激な悪化や為替の影響を受け、売上高は前期比19%の減少となった。

その結果当部門の業績は、売上高1,133億8千8百万円（前期比17%減）、営業利益35億4千6百万円（前期比67%減）となった。

ライフサイエンス機器部門においては、日本では、設備投資が低迷するなど厳しい状況が続いたが、期末にかけて大学・官公庁研究施設の需要が活発になった。海外では、新製品の投入効果やワクチンメーカー向け大型超遠心機の積極拡販などから売上は堅調に推移し、業績を底上げすることができた。

その結果当部門の業績は、売上高57億7千8百万円（前期比3%増）、営業利益16億3千8百万円（前期比9%増）となり、営業利益率をさらに高めることができた。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

連結での自己資本比率は74.6%であり、財務体質は安定している。

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローについては、税金等調整前当期純利益60億4千万円や棚卸資産の減少などにより、109億8千6百万円の収入となった。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、設備投資などにより、13億2千7百万円の支出となった。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払24億3千6百万円などにより、12億3千9百万円の支出となった。

以上の結果、現金及び現金同等物期末残高は、前連結会計年度末残高から84億3千1百万円増加し、251億2千万円となった。

なお、当社グループの一部の会社では外部からの借入を行っており、当連結会計年度末の外部金融機関等からの借入金残高は144億5千6百万円である。

(訂正後)

当連結会計年度の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析は、以下のとおりである。

なお、本項に記載した事項のうち、将来に関する事項については、当連結会計年度末現在において判断したものである。

(2) 当連結会計年度の経営成績の分析

集客力のあるホームセンターや大手量販店などの取引拡大、新興国での新たな顧客獲得などに努め、平成20年度第4四半期を底として西欧・豪州などで概ね業績を回復させ、ロシアでも回復の兆しがあらわれてきた。しかしながら、米国や日本で、長引く住宅投資の低迷に大きく影響を受けたことや、東欧や中東の業績が低水準で推移したことなどから、売上高は前年を下回った。

収益面では、徹底した原価低減に加え、中国工場への生産シフトを進めるなど、コストの削減及び収益力の強化に努めたが、売上が減少したことなどにより、大幅な減益となった。

その結果通期での当期連結業績は、売上高1,150億円（前期比17%減）、営業利益36億3千7百万円（前期比67%減）、経常利益36億3千8百万円（前期比59%減）、当期純利益9億6千7百万円（前期比73%減）となった。

当連結会計年度における部門別の状況は、以下のとおりである。

電動工具部門においては、日本では、リチウムイオン電池搭載のコードレス工具の拡販や新規販売ルートの開拓などに努めたが、住宅市場の冷え込みや設備投資の低迷などの影響を受け、売上高は前期比12%の減少となった。

北米地域では、ホームセンタールートのアライアンス強化や大手量販店の新規開拓などに積極的に取り組んだが、低水準で停滞している米国の住宅投資などの影響を受け、売上高は前期比16%の減少となった。

欧州地域では、フランスなどで大手ホームセンターとの取引拡大やロシアなどでエンジン工具の拡販に努めたものの、東欧で厳しい状況が続いたことや為替の影響などから、売上高は前期比24%の減少となった。

アジア、その他の地域では、インド、豪州などで現地通貨ベースの売上は比較的順調に推移したが、中東経済の急激な悪化や為替の影響を受け、売上高は前期比19%の減少となった。

その結果当部門の業績は、売上高1,092億2千2百万円（前期比18%減）、営業利益19億9千9百万円（前期比79%減）となった。

ライフサイエンス機器部門においては、日本では、設備投資が低迷するなど厳しい状況が続いたが、期末にかけて大学・官公庁研究施設の需要が活発になった。海外では、新製品の投入効果やワクチンメーカー向け大形超遠心機の積極拡販などから売上は堅調に推移し、業績を底上げすることができた。

その結果当部門の業績は、売上高57億7千8百万円（前期比3%増）、営業利益16億3千8百万円（前期比9%増）となり、営業利益率をさらに高めることができた。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

連結での自己資本比率は73.3%であり、財務体質は安定している。

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローについては、税金等調整前当期純利益38億1千万円や棚卸資産の減少などにより、109億3千4百万円の収入となった。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、設備投資などにより、13億2千7百万円の支出となった。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払24億3千6百万円などにより、11億8千8百万円の支出となった。

以上の結果、現金及び現金同等物期末残高は、前連結会計年度末残高から84億3千1百万円増加し、251億2千万円となった。

なお、当社グループの一部の会社では外部からの借入を行っており、当連結会計年度末の外部金融機関等からの借入金残高は144億5千6百万円である。

第5【経理の状況】

(訂正前)

1. 連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

(1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号、以下「連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成している。

なお、前連結会計年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)は、改正前の連結財務諸表規則に基づき、当連結会計年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)は、改正後の連結財務諸表規則に基づいて作成している。

(2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。)に基づいて作成している。

なお、前事業年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)は、改正前の財務諸表等規則に基づき、当事業年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)は、改正後の財務諸表等規則に基づいて作成している。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前連結会計年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の連結財務諸表及び前事業年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の財務諸表については、あずさ監査法人による監査を受け、当連結会計年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の連結財務諸表及び当事業年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の財務諸表については、新日本有限責任監査法人による監査を受けている。

なお、当社の監査人は次のとおり交代している。

| | |
|------------------|-------------|
| 第87期連結会計年度及び事業年度 | あずさ監査法人 |
| 第88期連結会計年度及び事業年度 | 新日本有限責任監査法人 |

3. 連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みについて

当社は、連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みを行っている。具体的には、会計基準等の内容を適切に把握し、又は会計基準等の変更に的確に対応できる体制を整備するため、公益財団法人財務会計基準機構へ加入している。

また、公益財団法人財務会計基準機構の行う研修に参加している。

(訂正後)

1. 連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

(1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号、以下「連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成している。

なお、前連結会計年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)は、改正前の連結財務諸表規則に基づき、当連結会計年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)は、改正後の連結財務諸表規則に基づいて作成している。

(2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。)に基づいて作成している。

なお、前事業年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)は、改正前の財務諸表等規則に基づき、当事業年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)は、改正後の財務諸表等規則に基づいて作成している。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前連結会計年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の連結財務諸表及び前事業年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の財務諸表については、あずさ監査法人による監査を受け、当連結会計年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の連結財務諸表及び当事業年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の財務諸表については、新日本有限責任監査法人による監査を受けている。

なお、当社の監査人は次のとおり交代している。

第87期連結会計年度及び事業年度　あずさ監査法人

第88期連結会計年度及び事業年度　新日本有限責任監査法人

なお、金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき、有価証券報告書の訂正報告書を提出しているが、訂正後の連結財務諸表および財務諸表について、前連結会計年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の連結財務諸表及び前事業年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の財務諸表については、有限責任あずさ監査法人による監査を受け、当連結会計年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の連結財務諸表及び当事業年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の財務諸表については、新日本有限責任監査法人による監査を受け、改めて監査報告書を受領している。

3. 連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みについて

当社は、連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みを行っている。具体的には、会計基準等の内容を適切に把握し、又は会計基準等の変更に的確に対応できる体制を整備するため、公益財団法人財務会計基準機構へ加入している。

また、公益財団法人財務会計基準機構の行う研修に参加している。

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成21年3月31日) | 当連結会計年度 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,620 | 9,922 |
| 預け金 | 4,068 | 15,197 |
| 受取手形及び売掛金 | 1 38,837 | 41,093 |
| たな卸資産 | 1, 2 51,801 | 2 43,492 |
| 繰延税金資産 | 5,365 | 3,737 |
| その他 | 4,834 | 2,118 |
| 貸倒引当金 | 1,102 | 638 |
| 流動資産合計 | 116,425 | 114,924 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 32,482 | 32,023 |
| 減価償却累計額 | 20,243 | 20,572 |
| 建物及び構築物(純額) | 12,239 | 11,450 |
| 機械装置及び運搬具 | 40,504 | 39,914 |
| 減価償却累計額 | 34,179 | 34,609 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 6,325 | 5,305 |
| 土地 | 3,427 | 3,420 |
| その他 | 10,631 | 10,645 |
| 減価償却累計額 | 8,587 | 8,615 |
| その他(純額) | 2,043 | 2,029 |
| 有形固定資産合計 | 24,035 | 22,206 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 5,278 | 4,989 |
| その他 | 2,118 | 1,825 |
| 無形固定資産合計 | 7,396 | 6,814 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3 971 | 3 1,216 |
| 従業員に対する長期貸付金 | 445 | - |
| 繰延税金資産 | 1,032 | 1,512 |
| その他 | 2,248 | 2,308 |
| 貸倒引当金 | 3 | - |
| 投資その他の資産合計 | 4,695 | 5,037 |
| 固定資産合計 | 36,127 | 34,058 |
| 資産合計 | 152,553 | 148,982 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成21年3月31日) | 当連結会計年度 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,374 | 8,267 |
| 短期借入金 | 14,194 | 14,448 |
| 未払費用 | 6,792 | 6,953 |
| 未払法人税等 | 696 | 591 |
| 役員賞与引当金 | 83 | 90 |
| その他 | 3,438 | 2,599 |
| 流動負債合計 | 36,579 | 32,951 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 3,101 | 3,009 |
| 役員退職慰労引当金 | 401 | 487 |
| その他 | 194 | 392 |
| 固定負債合計 | 3,697 | 3,889 |
| 負債合計 | 40,277 | 36,841 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 17,813 | 17,813 |
| 資本剰余金 | 21,555 | 21,557 |
| 利益剰余金 | 94,116 | 94,976 |
| 自己株式 | 13,642 | 13,635 |
| 株主資本合計 | 119,843 | 120,711 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21 | 81 |
| 繰延ヘッジ損益 | 9 | - |
| 為替換算調整勘定 | 8,508 | 9,418 |
| 評価・換算差額等合計 | 8,539 | 9,500 |
| 少数株主持分 | 972 | 930 |
| 純資産合計 | 112,275 | 112,141 |
| 負債純資産合計 | 152,553 | 148,982 |

(訂正後)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成21年3月31日) | 当連結会計年度 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,620 | 9,922 |
| 預け金 | 4,068 | 15,197 |
| 受取手形及び売掛金 | 1 35,404 | - 35,985 |
| たな卸資産 | 1, 2 52,153 | 2 43,955 |
| 繰延税金資産 | 5,528 | 3,799 |
| その他 | 4,834 | 2,135 |
| 貸倒引当金 | 1,062 | 655 |
| 流動資産合計 | 113,547 | 110,341 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 32,482 | 32,023 |
| 減価償却累計額 | 20,243 | 20,572 |
| 建物及び構築物(純額) | 12,239 | 11,450 |
| 機械装置及び運搬具 | 40,504 | 39,914 |
| 減価償却累計額 | 34,179 | 34,609 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 6,325 | 5,305 |
| 土地 | 3,427 | 3,420 |
| その他 | 10,631 | 10,645 |
| 減価償却累計額 | 8,587 | 8,615 |
| その他(純額) | 2,043 | 2,029 |
| 有形固定資産合計 | 24,035 | 22,206 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 5,278 | 4,989 |
| その他 | 2,118 | 1,825 |
| 無形固定資産合計 | 7,396 | 6,814 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3 971 | 3 1,216 |
| 従業員に対する長期貸付金 | 445 | - |
| 繰延税金資産 | 1,032 | 1,460 |
| その他 | 2,248 | 2,308 |
| 貸倒引当金 | 3 | - |
| 投資その他の資産合計 | 4,695 | 4,985 |
| 固定資産合計 | 36,127 | 34,005 |
| 資産合計 | 149,675 | 144,347 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成21年3月31日) | 当連結会計年度 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,374 | 8,267 |
| 短期借入金 | 14,194 | 14,448 |
| 未払費用 | 6,804 | 6,955 |
| 未払法人税等 | 696 | 591 |
| 役員賞与引当金 | 83 | 90 |
| その他 | 3,788 | 3,370 |
| 流動負債合計 | 36,941 | 33,724 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 3,101 | 3,009 |
| 役員退職慰労引当金 | 401 | 487 |
| その他 | 194 | 392 |
| 固定負債合計 | 3,697 | 3,889 |
| 負債合計 | 40,639 | 37,614 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 17,813 | 17,813 |
| 資本剰余金 | 21,555 | 21,557 |
| 利益剰余金 | 90,506 | 89,000 |
| 自己株式 | 13,642 | 13,635 |
| 株主資本合計 | 116,233 | 114,735 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21 | 81 |
| 繰延ヘッジ損益 | 9 | - |
| 為替換算調整勘定 | 8,138 | 8,851 |
| 評価・換算差額等合計 | 8,169 | 8,932 |
| 少数株主持分 | 972 | 930 |
| 純資産合計 | 109,036 | 106,732 |
| 負債純資産合計 | 149,675 | 144,347 |

【連結損益計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 142,013 | 119,166 |
| 売上原価 | 2 83,978 | 2, 3 74,775 |
| 売上総利益 | 58,035 | 44,390 |
| 販売費及び一般管理費 | 1, 2 45,814 | 1, 2 39,205 |
| 営業利益 | 12,220 | 5,184 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 445 | 191 |
| 受取配当金 | 34 | 17 |
| 不動産賃貸料 | 522 | 570 |
| 貸倒引当金戻入額 | 20 | - |
| その他 | 236 | 226 |
| 営業外収益合計 | 1,259 | 1,005 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 768 | 364 |
| 為替差損 | 2,205 | 117 |
| 持分法による投資損失 | 21 | 24 |
| 固定資産除却損 | 61 | 68 |
| 不動産賃貸費用 | 292 | 278 |
| その他 | 116 | 167 |
| 営業外費用合計 | 3,466 | 1,019 |
| 経常利益 | 10,012 | 5,169 |
| 特別利益 | | |
| 土地売却益 | 964 | - |
| 固定資産売却益 | - | 4 656 |
| 投資有価証券売却益 | 245 | 214 |
| 特別利益合計 | 1,210 | 870 |
| 特別損失 | | |
| 特別退職金 | 2,032 | - |
| 特別損失合計 | 2,032 | - |
| 税金等調整前当期純利益 | 9,191 | 6,040 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,787 | 1,459 |
| 法人税等調整額 | 238 | 1,181 |
| 法人税等合計 | 4,026 | 2,640 |
| 少数株主利益 | 129 | 66 |
| 当期純利益 | 5,034 | 3,333 |

(訂正後)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | | 当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) | |
|--------------|--|---------|--|---------|
| 売上高 | | 139,203 | | 115,000 |
| 売上原価 | 2 | 82,332 | 2, 3 | 72,094 |
| 売上総利益 | | 56,871 | | 42,905 |
| 販売費及び一般管理費 | 1, 2 | 45,771 | 1, 2 | 39,267 |
| 営業利益 | | 11,099 | | 3,637 |
| 営業外収益 | | | | |
| 受取利息 | | 445 | | 191 |
| 受取配当金 | | 34 | | 17 |
| 不動産賃貸料 | | 522 | | 570 |
| 貸倒引当金戻入額 | | 20 | | 15 |
| その他 | | 236 | | 226 |
| 営業外収益合計 | | 1,259 | | 1,020 |
| 営業外費用 | | | | |
| 支払利息 | | 776 | | 364 |
| 為替差損 | | 2,205 | | 117 |
| 持分法による投資損失 | | 21 | | 24 |
| 固定資産除却損 | | 61 | | 68 |
| 不動産賃貸費用 | | 292 | | 278 |
| その他 | | 116 | | 167 |
| 営業外費用合計 | | 3,474 | | 1,019 |
| 経常利益 | | 8,884 | | 3,638 |
| 特別利益 | | | | |
| 土地売却益 | | 964 | | - |
| 固定資産売却益 | | - | 4 | 656 |
| 投資有価証券売却益 | | 245 | | 214 |
| 特別利益合計 | | 1,210 | | 870 |
| 特別損失 | | | | |
| 特別退職金 | | 2,032 | | - |
| 付加価値税修正損 | 5 | 518 | 5 | 698 |
| 特別損失合計 | | 2,551 | | 698 |
| 税金等調整前当期純利益 | | 7,544 | | 3,810 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 3,787 | | 1,441 |
| 法人税等調整額 | | 96 | | 1,335 |
| 法人税等合計 | | 3,884 | | 2,776 |
| 少数株主利益 | | 129 | | 66 |
| 当期純利益 | | 3,530 | | 967 |

【連結株主資本等変動計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|----------------------|---|---|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 前期末残高 | 17,813 | 17,813 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 17,813 | 17,813 |
| 資本剰余金 | | |
| 前期末残高 | 21,533 | 21,555 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の処分 | 22 | 1 |
| 当期変動額合計 | 22 | 1 |
| 当期末残高 | 21,555 | 21,557 |
| 利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | 94,255 | 94,116 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減 | 89 | - |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 5,034 | 3,333 |
| 在外子会社の米国会計基準適用に伴う減少額 | - | 40 |
| 当期変動額合計 | 48 | 859 |
| 当期末残高 | 94,116 | 94,976 |
| 自己株式 | | |
| 前期末残高 | 12,340 | 13,642 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 23 | 10 |
| 当期変動額合計 | 1,302 | 7 |
| 当期末残高 | 13,642 | 13,635 |
| 株主資本合計 | | |
| 前期末残高 | 121,262 | 119,843 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減 | 89 | - |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 5,034 | 3,333 |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 45 | 11 |
| 在外子会社の米国会計基準適用に伴う減少額 | - | 40 |
| 当期変動額合計 | 1,329 | 868 |
| 当期末残高 | 119,843 | 120,711 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 前期末残高 | 608 | 21 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 630 | 59 |
| 当期変動額合計 | 630 | 59 |
| 当期末残高 | 21 | 81 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 前期末残高 | 0 | 9 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 9 | 9 |
| 当期変動額合計 | 9 | 9 |
| 当期末残高 | 9 | - |
| 為替換算調整勘定 | | |
| 前期末残高 | 1,086 | 8,508 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 7,421 | 910 |
| 当期変動額合計 | 7,421 | 910 |
| 当期末残高 | 8,508 | 9,418 |
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 前期末残高 | 477 | 8,539 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 8,061 | 960 |
| 当期変動額合計 | 8,061 | 960 |
| 当期末残高 | 8,539 | 9,500 |
| 少数株主持分 | | |
| 前期末残高 | 1,102 | 972 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 130 | 42 |
| 当期変動額合計 | 130 | 42 |
| 当期末残高 | 972 | 930 |
| 純資産合計 | | |
| 前期末残高 | 121,887 | 112,275 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減 | 89 | - |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 5,034 | 3,333 |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 45 | 11 |
| 在外子会社の米国会計基準適用に伴う減少額 | - | 40 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 8,191 | 1,002 |
| 当期変動額合計 | 9,521 | 134 |
| 当期末残高 | 112,275 | 112,141 |

(訂正後)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 前期末残高 | 17,813 | 17,813 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 17,813 | 17,813 |
| 資本剰余金 | | |
| 前期末残高 | 21,533 | 21,555 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の処分 | 22 | 1 |
| 当期変動額合計 | 22 | 1 |
| 当期末残高 | 21,555 | 21,557 |
| 利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | 92,149 | 90,506 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減 | 89 | - |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 3,530 | 967 |
| 在外子会社の米国会計基準適用に伴う減少額 | - | 40 |
| 当期変動額合計 | 1,553 | 1,506 |
| 当期末残高 | 90,506 | 89,000 |
| 自己株式 | | |
| 前期末残高 | 12,340 | 13,642 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 23 | 10 |
| 当期変動額合計 | 1,302 | 7 |
| 当期末残高 | 13,642 | 13,635 |
| 株主資本合計 | | |
| 前期末残高 | 119,156 | 116,233 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減 | 89 | - |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 3,530 | 967 |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 45 | 11 |
| 在外子会社の米国会計基準適用に伴う減少額 | - | 40 |
| 当期変動額合計 | 2,833 | 1,497 |
| 当期末残高 | 116,233 | 114,735 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 前期末残高 | 608 | 21 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 630 | 59 |
| 当期変動額合計 | 630 | 59 |
| 当期末残高 | 21 | 81 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 前期末残高 | 0 | 9 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 9 | 9 |
| 当期変動額合計 | 9 | 9 |
| 当期末残高 | 9 | - |
| 為替換算調整勘定 | | |
| 前期末残高 | 1,133 | 8,138 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 7,004 | 712 |
| 当期変動額合計 | 7,004 | 712 |
| 当期末残高 | 8,138 | 8,851 |
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 前期末残高 | 524 | 8,169 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 7,644 | 763 |
| 当期変動額合計 | 7,644 | 763 |
| 当期末残高 | 8,169 | 8,932 |
| 少数株主持分 | | |
| 前期末残高 | 1,102 | 972 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 130 | 42 |
| 当期変動額合計 | 130 | 42 |
| 当期末残高 | 972 | 930 |
| 純資産合計 | | |
| 前期末残高 | 119,734 | 109,036 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減 | 89 | - |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 3,530 | 967 |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 45 | 11 |
| 在外子会社の米国会計基準適用に伴う減少額 | - | 40 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 7,774 | 805 |
| 当期変動額合計 | 10,608 | 2,303 |
| 当期末残高 | 109,036 | 106,732 |

【連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|-----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 9,191 | 6,040 |
| 減価償却費 | 4,632 | 3,919 |
| 退職給付引当金の増減額 (は減少) | 1,216 | 201 |
| 受取利息及び受取配当金 | 479 | 208 |
| 支払利息 | 768 | 364 |
| 有形固定資産売却損益 (は益) | 947 | 657 |
| 特別退職金 | 2,032 | - |
| 売上債権の増減額 (は増加) | 3,433 | 3,913 |
| たな卸資産の増減額 (は増加) | 16,324 | 7,552 |
| 仕入債務の増減額 (は減少) | 2,361 | 2,678 |
| 未払金の増減額 (は減少) | 107 | 224 |
| 未払費用の増減額 (は減少) | 125 | 428 |
| その他 | 844 | 707 |
| 小計 | 2,376 | 11,530 |
| 利息及び配当金の受取額 | 479 | 208 |
| 利息の支払額 | 779 | 367 |
| 特別退職金の支払額 | 1,645 | 391 |
| 法人税等の還付額 | - | 1,987 |
| 法人税等の支払額 | 10,529 | 1,981 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 10,098 | 10,986 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | 122 | 608 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 732 | 446 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 2,670 | 1,789 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,021 | 787 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 836 | 291 |
| 事業譲受による支出 | 172 | - |
| その他 | 132 | 127 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,916 | 1,327 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (は減少) | 7,017 | 1,072 |
| 自己株式の取得による支出 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の売却による収入 | 45 | 11 |
| 配当金の支払額 | 5,073 | 2,436 |
| その他 | 64 | 114 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 599 | 1,239 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,614 | 12 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (は減少) | 13,029 | 8,431 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 29,718 | 16,688 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 16,688 | 25,120 |

(訂正後)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 7,544 | 3,810 |
| 減価償却費 | 4,632 | 3,919 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 1,216 | 201 |
| 受取利息及び受取配当金 | 479 | 208 |
| 支払利息 | 776 | 364 |
| 有形固定資産売却損益(は益) | 947 | 657 |
| 特別退職金 | 2,032 | - |
| 売上債権の増減額(は増加) | 4,820 | 2,057 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 16,564 | 7,362 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 2,365 | 2,677 |
| 未払金の増減額(は減少) | 107 | 224 |
| 未払費用の増減額(は減少) | 118 | 418 |
| その他 | 532 | 1,227 |
| 小計 | 2,206 | 11,478 |
| 利息及び配当金の受取額 | 479 | 208 |
| 利息の支払額 | 786 | 367 |
| 特別退職金の支払額 | 1,645 | 391 |
| 法人税等の還付額 | - | 1,987 |
| 法人税等の支払額 | 10,529 | 1,981 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 10,275 | 10,934 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | 122 | 608 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 732 | 446 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 2,670 | 1,789 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,021 | 787 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 836 | 291 |
| 事業譲受による支出 | 172 | - |
| その他 | 132 | 127 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,916 | 1,327 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 7,194 | 1,124 |
| 自己株式の取得による支出 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の売却による収入 | 45 | 11 |
| 配当金の支払額 | 5,073 | 2,436 |
| その他 | 64 | 114 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 776 | 1,188 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,614 | 12 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 13,029 | 8,431 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 29,718 | 16,688 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 16,688 | 25,120 |

【注記事項】

(連結貸借対照表関係)

(訂正前)

| 前連結会計年度 (平成21年3月31日現在) | 当連結会計年度 (平成22年3月31日現在) |
|---|--|
| <p>1. 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は次のとおりである。 売掛金 877百万円 たな卸資産 2,003 担保付債務は次のとおりである。 短期借入金 572</p> <p>2. たな卸資産の内訳 商品及び製品 45,249百万円 仕掛品 2,692 原材料及び貯蔵品 3,859</p> <p>3. 非連結子会社及び関連会社に対する主な資産・負債 投資有価証券(株式) 134百万円</p> <p>4. 保証債務 金融機関からの借入金に対する被保証先別債務保証残高は次のとおりである。 従業員(住宅建設資金) 72百万円</p> <p>5. 輸出手形未決済残高 42百万円</p> | <p>2. たな卸資産の内訳 商品及び製品 38,722百万円 仕掛品 2,291 原材料及び貯蔵品 2,478</p> <p>3. 非連結子会社及び関連会社に対する主な資産・負債 投資有価証券(株式) 108百万円</p> <p>4. 保証債務 金融機関からの借入金に対する被保証先別債務保証残高は次のとおりである。 従業員(住宅建設資金) 65百万円</p> |

(訂正後)

| 前連結会計年度 (平成21年3月31日現在) | 当連結会計年度 (平成22年3月31日現在) |
|---|--|
| <p>1. 担保資産及び担保付債務</p> <p>担保に供している資産は次のとおりである。</p> <p> 売掛金 877百万円</p> <p> たな卸資産 2,003</p> <p>担保付債務は次のとおりである。</p> <p> 短期借入金 572</p> | |
| <p>2. たな卸資産の内訳</p> <p> 商品及び製品 45,600百万円</p> <p> 仕掛品 2,692</p> <p> 原材料及び貯蔵品 3,859</p> | |
| <p>3. 非連結子会社及び関連会社に対する主な資産・負債</p> <p> 投資有価証券(株式) 134百万円</p> | |
| <p>4. 保証債務</p> <p>金融機関からの借入金に対する被保証先別債務保証残高は次のとおりである。</p> <p> 従業員(住宅建設資金) 72百万円</p> | |
| <p>5. 輸出手形未決済残高</p> <p> 42百万円</p> | |
| | <p>2. たな卸資産の内訳</p> <p> 商品及び製品 39,185百万円</p> <p> 仕掛品 2,291</p> <p> 原材料及び貯蔵品 2,478</p> |
| | <p>3. 非連結子会社及び関連会社に対する主な資産・負債</p> <p> 投資有価証券(株式) 108百万円</p> |
| | <p>4. 保証債務</p> <p>金融機関からの借入金に対する被保証先別債務保証残高は次のとおりである。</p> <p> 従業員(住宅建設資金) 65百万円</p> |

(連結損益計算書関係)

(訂正前)

| 前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------|----------|-------|----------|--------------|-------------|------------|----------|--------|-----------|-----|----------|-----|----------|-----|--|------------|----------|----------|-------|----------|--------------|-------------|-----------|----------|---------------|-----------|------------|----------|------------|----------|-----|
| <p>1. 販売費及び一般管理費の主な内訳</p> <p>(1) 販売直接費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1. 荷造及び発送費</td> <td style="text-align: right;">5,184百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">2. 広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">2,259</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3. 販売奨励費</td> <td style="text-align: right;"><u>4,533</u></td> </tr> </table> <p>(2) 販売間接費及び一般管理費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1. 貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;"><u>368</u></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">2. 給料諸手当</td> <td style="text-align: right;">15,096</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3. 退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">817</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">4. 減価償却費</td> <td style="text-align: right;">877</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">5. 研究開発費</td> <td style="text-align: right;">788</td> </tr> </table> <p>2. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、3,425百万円である。</p> | 1. 荷造及び発送費 | 5,184百万円 | 2. 広告宣伝費 | 2,259 | 3. 販売奨励費 | <u>4,533</u> | 1. 貸倒引当金繰入額 | <u>368</u> | 2. 給料諸手当 | 15,096 | 3. 退職給付費用 | 817 | 4. 減価償却費 | 877 | 5. 研究開発費 | 788 | <p>1. 販売費及び一般管理費の主な内訳</p> <p>(1) 販売直接費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1. 荷造及び発送費</td> <td style="text-align: right;">4,062百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">2. 広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">1,354</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3. 販売奨励費</td> <td style="text-align: right;"><u>4,299</u></td> </tr> </table> <p>(2) 販売間接費及び一般管理費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1. 貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;"><u>86</u></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">2. 給料諸手当</td> <td style="text-align: right;"><u>13,446</u></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3. 退職給付費用</td> <td style="text-align: right;"><u>997</u></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">4. 減価償却費</td> <td style="text-align: right;"><u>773</u></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">5. 研究開発費</td> <td style="text-align: right;">677</td> </tr> </table> <p>2. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、3,239百万円である。</p> <p>3. 期末棚卸資産残高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損が売上原価に含まれている。</p> <p style="text-align: right;">51百万円</p> <p>4. 固定資産売却益656百万円は、当社及び在外子会社における土地売却益318百万円、建物及び構築物売却益338百万円である。</p> | 1. 荷造及び発送費 | 4,062百万円 | 2. 広告宣伝費 | 1,354 | 3. 販売奨励費 | <u>4,299</u> | 1. 貸倒引当金繰入額 | <u>86</u> | 2. 給料諸手当 | <u>13,446</u> | 3. 退職給付費用 | <u>997</u> | 4. 減価償却費 | <u>773</u> | 5. 研究開発費 | 677 |
| 1. 荷造及び発送費 | 5,184百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 広告宣伝費 | 2,259 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 販売奨励費 | <u>4,533</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 貸倒引当金繰入額 | <u>368</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 給料諸手当 | 15,096 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 退職給付費用 | 817 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 減価償却費 | 877 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 研究開発費 | 788 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 荷造及び発送費 | 4,062百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 広告宣伝費 | 1,354 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 販売奨励費 | <u>4,299</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 貸倒引当金繰入額 | <u>86</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 給料諸手当 | <u>13,446</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 退職給付費用 | <u>997</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 減価償却費 | <u>773</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 研究開発費 | 677 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(訂正後)

| 前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------|----------|-------|----------|--------------|-------------|------------|----------|--------|-----------|-----|----------|-----|----------|-----|--|------------|----------|----------|-------|----------|--------------|-------------|------------|----------|---------------|-----------|------------|----------|----------|----------|-----|
| <p>1. 販売費及び一般管理費の主な内訳</p> <p>(1) 販売直接費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 荷造及び発送費</td> <td style="text-align: right;">5,184百万円</td> </tr> <tr> <td>2. 広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">2,259</td> </tr> <tr> <td>3. 販売奨励費</td> <td style="text-align: right;"><u>4,532</u></td> </tr> </table> <p>(2) 販売間接費及び一般管理費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;"><u>364</u></td> </tr> <tr> <td>2. 給料諸手当</td> <td style="text-align: right;">15,096</td> </tr> <tr> <td>3. 退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">817</td> </tr> <tr> <td>4. 減価償却費</td> <td style="text-align: right;">877</td> </tr> <tr> <td>5. 研究開発費</td> <td style="text-align: right;">788</td> </tr> </table> <p>2. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、3,425百万円である。</p> <p>3.</p> <p>4.</p> <p>5. <u>ドイツ子会社における不適切な取引に係る付加価値税に関して、不適切な売上に対して支払った付加価値税の還付の可能性は高いと見込まれるが、現在税務当局による調査が行われており、現時点では確実性が見込めないため、各期において費用処理している。当連結会計年度末における費用処理累計額は992百万円である。</u></p> | 1. 荷造及び発送費 | 5,184百万円 | 2. 広告宣伝費 | 2,259 | 3. 販売奨励費 | <u>4,532</u> | 1. 貸倒引当金繰入額 | <u>364</u> | 2. 給料諸手当 | 15,096 | 3. 退職給付費用 | 817 | 4. 減価償却費 | 877 | 5. 研究開発費 | 788 | <p>1. 販売費及び一般管理費の主な内訳</p> <p>(1) 販売直接費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 荷造及び発送費</td> <td style="text-align: right;">4,062百万円</td> </tr> <tr> <td>2. 広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">1,354</td> </tr> <tr> <td>3. 販売奨励費</td> <td style="text-align: right;"><u>4,309</u></td> </tr> </table> <p>(2) 販売間接費及び一般管理費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;"><u>158</u></td> </tr> <tr> <td>2. 給料諸手当</td> <td style="text-align: right;"><u>13,458</u></td> </tr> <tr> <td>3. 退職給付費用</td> <td style="text-align: right;"><u>990</u></td> </tr> <tr> <td>4. 減価償却費</td> <td style="text-align: right;"><u>0</u></td> </tr> <tr> <td>5. 研究開発費</td> <td style="text-align: right;">677</td> </tr> </table> <p>2. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、3,239百万円である。</p> <p>3. 期末棚卸資産残高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損が売上原価に含まれている。</p> <p style="text-align: right;">51百万円</p> <p>4. 固定資産売却益656百万円は、当社及び在外子会社における土地売却益318百万円、建物及び構築物売却益338百万円である。</p> <p>5. <u>ドイツ子会社における不適切な取引に係る付加価値税に関して、不適切な売上に対して支払った付加価値税の還付の可能性は高いと見込まれるが、現在税務当局による調査が行われており、現時点では確実性が見込めないため、各期において費用処理している。当連結会計年度末における費用処理累計額は1,691百万円である。</u></p> | 1. 荷造及び発送費 | 4,062百万円 | 2. 広告宣伝費 | 1,354 | 3. 販売奨励費 | <u>4,309</u> | 1. 貸倒引当金繰入額 | <u>158</u> | 2. 給料諸手当 | <u>13,458</u> | 3. 退職給付費用 | <u>990</u> | 4. 減価償却費 | <u>0</u> | 5. 研究開発費 | 677 |
| 1. 荷造及び発送費 | 5,184百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 広告宣伝費 | 2,259 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 販売奨励費 | <u>4,532</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 貸倒引当金繰入額 | <u>364</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 給料諸手当 | 15,096 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 退職給付費用 | 817 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 減価償却費 | 877 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 研究開発費 | 788 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 荷造及び発送費 | 4,062百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 広告宣伝費 | 1,354 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 販売奨励費 | <u>4,309</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 貸倒引当金繰入額 | <u>158</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 給料諸手当 | <u>13,458</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 退職給付費用 | <u>990</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 減価償却費 | <u>0</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 研究開発費 | 677 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(金融商品関係)

(訂正前)

当連結会計年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

1.金融商品の状況に関する事項

(1)金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については外部金融機関等からの借入によっている。デリバティブは後述するリスクを回避するために利用し、投機的な取引は行わない。

(2)金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されている。当該リスクに関しては、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うとともに、主な取引先の信用状況を定期的に把握する体制としている。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されている。当該リスクに関しては、原則として外貨建ての営業債務をネットしたポジションについて先物為替予約を利用してヘッジしている。

投資有価証券は主として株式であり、市場価格の変動リスクに晒されているが、主に業務上の関係を有する企業の株式であり、四半期ごとに時価の把握を行っている。

営業債務である支払手形及び買掛金は、ほとんどが1年以内の支払期日である。外貨建ての営業債務は、為替の変動リスクに晒されているが、原則として先物為替予約を利用してヘッジしている。

短期借入金は主に営業取引に係る資金調達である。

デリバティブ取引は、外貨建金銭債権債務等に係る為替相場の変動リスク及び金利変動リスクを回避する目的で、為替予約取引及び金利通貨スワップ取引を利用している。為替予約取引には、為替相場の変動によるリスク、金利通貨スワップ取引には為替相場の変動によるリスク及び金利変動によるリスクを有している。デリバティブの実行・管理については、取引権限及び取引限度額を定めた社内管理規定に基づき、経理部門が取引の実行及び管理を行い、取引結果は毎月担当役員に報告している。

また、営業債務や短期借入金は、流動性リスクに晒されているが、当社グループでは、各社が月次に資金繰計画を作成するなどの方法により管理している。

2.金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。なお、時価を把握することが極めて困難であると認められるものは、次表には含まれていない。

| | 連結貸借対照表計上額(*1) (百万円) | 時 価(*1) (百万円) | 差 額 (百万円) |
|-------------------|-------------------------|------------------|--------------|
| (1) 現金及び預金 | 9,922 | 9,992 | - |
| (2) 預け金 | 15,197 | 15,197 | - |
| (3) 受取手形及び売掛金(*2) | 40,455 | 40,455 | - |
| (4) 投資有価証券 | | | |
| その他有価証券 | 1,038 | 1,038 | - |
| (5) 支払手形及び買掛金 | (8,267) | (8,267) | - |
| (6) 短期借入金 | (14,448) | (14,448) | - |
| (7) デリバティブ取引(*3) | 53 | 53 | - |

(*1)負債に計上されているものについては、()で表示している。

(*2)受取手形及び売掛金は貸倒引当金 638百万円を控除した金額である。

(*3)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示している。

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1)現金及び預金、(2)預け金、並びに(3)受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっている。

(4)投資有価証券

これらの時価については、株式は取引所の価格によっている。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記のとおりである。

(5)支払手形及び買掛金、並びに(6)短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっている。

(7)デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記のとおりである。

(注) 2. 非上場株式(連結貸借対照表計上額178百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見

積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)投資有価証券

その他有価証券」には含めていない。

(注) 3. 金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

| | 1年以内(百万円) |
|-------------------|-----------|
| 現金及び預金 | 9,922 |
| 預け金 | 15,197 |
| 受取手形及び売掛金 | 40,455 |
| 投資有価証券 | |
| その他有価証券のうち満期があるもの | - |
| 合計 | 65,575 |

(訂正後)

当連結会計年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については外部金融機関等からの借入によっている。デリバティブは後述するリスクを回避するために利用し、投機的な取引は行わない。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されている。当該リスクに関しては、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うとともに、主な取引先の信用状況を定期的に把握する体制としている。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されている。当該リスクに関しては、原則として外貨建ての営業債務をネットしたポジションについて先物為替予約を利用してヘッジしている。

投資有価証券は主として株式であり、市場価格の変動リスクに晒されているが、主に業務上の関係を有する企業の株式であり、四半期ごとに時価の把握を行っている。

営業債務である支払手形及び買掛金は、ほとんどが1年以内の支払期日である。外貨建ての営業債務は、為替の変動リスクに晒されているが、原則として先物為替予約を利用してヘッジしている。

短期借入金には主に営業取引に係る資金調達である。

デリバティブ取引は、外貨建金銭債権債務等に係る為替相場の変動リスク及び金利変動リスクを回避する目的で、為替予約取引及び金利通貨スワップ取引を利用している。為替予約取引には、為替相場の変動によるリスク、金利通貨スワップ取引には為替相場の変動によるリスク及び金利変動によるリスクを有している。デリバティブの実行・管理については、取引権限及び取引限度額を定めた社内管理規定に基づき、経理部門が取引の実行及び管理を行い、取引結果は毎月担当役員に報告している。

また、営業債務や短期借入金は、流動性リスクに晒されているが、当社グループでは、各社が月次に資金繰計画を作成するなどの方法により管理している。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。なお、時価を把握することが極めて困難であると認められるものは、次表には含まれていない。

| | 連結貸借対照表計上額(*1) (百万円) | 時 価(*1) (百万円) | 差 額 (百万円) |
|-------------------|-------------------------|------------------|--------------|
| (1) 現金及び預金 | 9,922 | 9,992 | - |
| (2) 預け金 | 15,197 | 15,197 | - |
| (3) 受取手形及び売掛金(*2) | <u>35,329</u> | <u>35,329</u> | - |
| (4) 投資有価証券 | | | |
| その他有価証券 | 1,038 | 1,038 | - |
| (5) 支払手形及び買掛金 | (8,267) | (8,267) | - |
| (6) 短期借入金 | (14,448) | (14,448) | - |
| (7) デリバティブ取引(*3) | 53 | 53 | - |

(*1)負債に計上されているものについては、()で表示している。

(*2)受取手形及び売掛金は貸倒引当金 655百万円を控除した金額である。

(*3)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示している。

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1)現金及び預金、(2)預け金、並びに(3)受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっている。

(4)投資有価証券

これらの時価については、株式は取引所の価格によっている。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記のとおりである。

(5)支払手形及び買掛金、並びに(6)短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっている。

(7)デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記のとおりである。

(注) 2. 非上場株式(連結貸借対照表計上額178百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)投資有価証券
 その他有価証券」には含めていない。

(注) 3. 金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

| | 1年以内(百万円) |
|-------------------|-----------|
| 現金及び預金 | 9,922 |
| 預け金 | 15,197 |
| 受取手形及び売掛金 | 35,329 |
| 投資有価証券 | |
| その他有価証券のうち満期があるもの | - |
| 合計 | 60,450 |

(税効果会計関係)

(訂正前)

| 前連結会計年度 (平成21年3月31日現在) | 当連結会計年度 (平成22年3月31日現在) |
|--|--|
| 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 | 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 |
| (繰延税金資産) | (繰延税金資産) |
| 退職給付引当金 | 退職給付引当金 |
| 639百万円 | 683百万円 |
| 未払賞与 | 未払賞与 |
| 718 | 673 |
| 未払費用 | 未払費用 |
| 575 | 515 |
| たな卸資産評価損 | たな卸資産評価損 |
| 1,120 | 965 |
| 繰越外国税額控除 | 繰越外国税額控除 |
| 195 | 481 |
| たな卸資産未実現利益消去 | たな卸資産未実現利益消去 |
| <u>3,163</u> | <u>1,718</u> |
| 繰越欠損金 | 繰越欠損金 |
| 941 | <u>1,033</u> |
| その他 | その他 |
| 844 | <u>870</u> |
| 繰延税金資産小計 | 繰延税金資産小計 |
| <u>8,199</u> | <u>6,941</u> |
| 評価性引当額 | 評価性引当額 |
| 1,620 | 1,602 |
| 繰延税金資産合計 | 繰延税金資産合計 |
| <u>6,578</u> | <u>5,338</u> |
| (繰延税金負債) | (繰延税金負債) |
| 在外子会社留保利益 | 在外子会社留保利益 |
| 106 | 88 |
| その他 | その他 |
| 77 | 3 |
| 繰延税金負債合計 | 繰延税金負債合計 |
| <u>183</u> | <u>92</u> |
| 繰延税金資産の純額 | 繰延税金資産の純額 |
| <u>6,395</u> | <u>5,246</u> |
| 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 | 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 |
| 法定実効税率 | 法定実効税率 |
| 40.5% | 40.5% |
| (調整) | (調整) |
| 損金に算入されない費用 | 損金に算入されない費用 |
| <u>1.4</u> | <u>2.3</u> |
| 評価性引当額 | 評価性引当額 |
| <u>13.6</u> | <u>9.2</u> |
| 子会社の税率差異 | 子会社の税率差異 |
| <u>8.3</u> | <u>6.3</u> |
| 在外子会社からの受取配当金 | 在外子会社からの受取配当金 |
| <u>8.7</u> | <u>19.7</u> |
| 試験研究費税額控除 | 試験研究費税額控除 |
| <u>2.7</u> | <u>4.1</u> |
| 外国税額控除 | 外国税額控除 |
| <u>11.2</u> | <u>18.4</u> |
| 特定外国子会社留保金課税 | 特定外国子会社留保金課税 |
| <u>2.3</u> | <u>1.3</u> |
| その他 | その他 |
| <u>0.5</u> | <u>0.5</u> |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 |
| <u>43.8</u> | <u>43.7</u> |

(訂正後)

| 前連結会計年度 (平成21年3月31日現在) | 当連結会計年度 (平成22年3月31日現在) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------------|--------|------|-----|-------------|------------|----------|-------------|----------|------------|---------------|--------------|-----------|------------|--------|-------------|--------------|--------------|--------|--------------|-------------------|--------------|--|--------|-------|------|----------|-------------|------------|--------------|---|----------|------------|---------------|-------------|-----------|------------|----------|-------------|--------------|------------|--------------|--------------|-------------------|-------------|-----|------------|----------|--------------|--------|--------------|----------|--------------|-----------|----|-----|---|----------|-----------|-----------|--------------|
| <p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>(繰延税金資産)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>退職給付引当金</td><td style="text-align: right;">639百万円</td></tr> <tr><td>未払賞与</td><td style="text-align: right;">718</td></tr> <tr><td>未払費用</td><td style="text-align: right;">575</td></tr> <tr><td>たな卸資産評価損</td><td style="text-align: right;">1,120</td></tr> <tr><td>繰越外国税額控除</td><td style="text-align: right;">195</td></tr> <tr><td>たな卸資産未実現利益消去</td><td style="text-align: right;"><u>3,326</u></td></tr> <tr><td>繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">941</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">844</td></tr> <tr><td>繰延税金資産小計</td><td style="text-align: right;"><u>8,362</u></td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;"><u>1,620</u></td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td style="text-align: right;"><u>6,742</u></td></tr> </table> <p>(繰延税金負債)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>在外子会社留保利益</td><td style="text-align: right;">106</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">77</td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td style="text-align: right;"><u>183</u></td></tr> <tr><td>繰延税金資産の純額</td><td style="text-align: right;"><u>6,558</u></td></tr> </table> | 退職給付引当金 | 639百万円 | 未払賞与 | 718 | 未払費用 | 575 | たな卸資産評価損 | 1,120 | 繰越外国税額控除 | 195 | たな卸資産未実現利益消去 | <u>3,326</u> | 繰越欠損金 | 941 | その他 | 844 | 繰延税金資産小計 | <u>8,362</u> | 評価性引当額 | <u>1,620</u> | 繰延税金資産合計 | <u>6,742</u> | 在外子会社留保利益 | 106 | その他 | 77 | 繰延税金負債合計 | <u>183</u> | 繰延税金資産の純額 | <u>6,558</u> | <p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>(繰延税金資産)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>退職給付引当金</td><td style="text-align: right;">683百万円</td></tr> <tr><td>未払賞与</td><td style="text-align: right;">673</td></tr> <tr><td>未払費用</td><td style="text-align: right;">515</td></tr> <tr><td>たな卸資産評価損</td><td style="text-align: right;">965</td></tr> <tr><td>繰越外国税額控除</td><td style="text-align: right;">481</td></tr> <tr><td>たな卸資産未実現利益消去</td><td style="text-align: right;"><u>1,766</u></td></tr> <tr><td>繰越欠損金</td><td style="text-align: right;"><u>981</u></td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;"><u>885</u></td></tr> <tr><td>繰延税金資産小計</td><td style="text-align: right;"><u>6,951</u></td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;"><u>1,602</u></td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td style="text-align: right;"><u>5,348</u></td></tr> </table> <p>(繰延税金負債)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>在外子会社留保利益</td><td style="text-align: right;">88</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">3</td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td style="text-align: right;"><u>92</u></td></tr> <tr><td>繰延税金資産の純額</td><td style="text-align: right;"><u>5,256</u></td></tr> </table> | 退職給付引当金 | 683百万円 | 未払賞与 | 673 | 未払費用 | 515 | たな卸資産評価損 | 965 | 繰越外国税額控除 | 481 | たな卸資産未実現利益消去 | <u>1,766</u> | 繰越欠損金 | <u>981</u> | その他 | <u>885</u> | 繰延税金資産小計 | <u>6,951</u> | 評価性引当額 | <u>1,602</u> | 繰延税金資産合計 | <u>5,348</u> | 在外子会社留保利益 | 88 | その他 | 3 | 繰延税金負債合計 | <u>92</u> | 繰延税金資産の純額 | <u>5,256</u> |
| 退職給付引当金 | 639百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払賞与 | 718 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払費用 | 575 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産評価損 | 1,120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰越外国税額控除 | 195 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産未実現利益消去 | <u>3,326</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰越欠損金 | 941 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 844 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産小計 | <u>8,362</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | <u>1,620</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産合計 | <u>6,742</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在外子会社留保利益 | 106 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 77 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金負債合計 | <u>183</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産の純額 | <u>6,558</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付引当金 | 683百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払賞与 | 673 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払費用 | 515 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産評価損 | 965 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰越外国税額控除 | 481 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産未実現利益消去 | <u>1,766</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰越欠損金 | <u>981</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | <u>885</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産小計 | <u>6,951</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | <u>1,602</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産合計 | <u>5,348</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在外子会社留保利益 | 88 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金負債合計 | <u>92</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産の純額 | <u>5,256</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>法定実効税率</td><td style="text-align: right;">40.5%</td></tr> <tr><td>(調整)</td><td></td></tr> <tr><td>損金に算入されない費用</td><td style="text-align: right;"><u>1.7</u></td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;"><u>21.3</u></td></tr> <tr><td>子会社の税率差異</td><td style="text-align: right;"><u>7.9</u></td></tr> <tr><td>在外子会社からの受取配当金</td><td style="text-align: right;"><u>10.7</u></td></tr> <tr><td>試験研究費税額控除</td><td style="text-align: right;"><u>3.3</u></td></tr> <tr><td>外国税額控除</td><td style="text-align: right;"><u>13.6</u></td></tr> <tr><td>特定外国子会社留保金課税</td><td style="text-align: right;"><u>2.7</u></td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;"><u>0.6</u></td></tr> <tr><td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td><td style="text-align: right;"><u>51.5</u></td></tr> </table> | 法定実効税率 | 40.5% | (調整) | | 損金に算入されない費用 | <u>1.7</u> | 評価性引当額 | <u>21.3</u> | 子会社の税率差異 | <u>7.9</u> | 在外子会社からの受取配当金 | <u>10.7</u> | 試験研究費税額控除 | <u>3.3</u> | 外国税額控除 | <u>13.6</u> | 特定外国子会社留保金課税 | <u>2.7</u> | その他 | <u>0.6</u> | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>51.5</u> | <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>法定実効税率</td><td style="text-align: right;">40.5%</td></tr> <tr><td>(調整)</td><td></td></tr> <tr><td>損金に算入されない費用</td><td style="text-align: right;"><u>3.7</u></td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;"><u>36.8</u></td></tr> <tr><td>子会社の税率差異</td><td style="text-align: right;"><u>4.0</u></td></tr> <tr><td>在外子会社からの受取配当金</td><td style="text-align: right;"><u>31.2</u></td></tr> <tr><td>試験研究費税額控除</td><td style="text-align: right;"><u>6.5</u></td></tr> <tr><td>外国税額控除</td><td style="text-align: right;"><u>29.2</u></td></tr> <tr><td>特定外国子会社留保金課税</td><td style="text-align: right;"><u>2.1</u></td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;"><u>1.7</u></td></tr> <tr><td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td><td style="text-align: right;"><u>72.9</u></td></tr> </table> | 法定実効税率 | 40.5% | (調整) | | 損金に算入されない費用 | <u>3.7</u> | 評価性引当額 | <u>36.8</u> | 子会社の税率差異 | <u>4.0</u> | 在外子会社からの受取配当金 | <u>31.2</u> | 試験研究費税額控除 | <u>6.5</u> | 外国税額控除 | <u>29.2</u> | 特定外国子会社留保金課税 | <u>2.1</u> | その他 | <u>1.7</u> | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>72.9</u> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法定実効税率 | 40.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (調整) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 損金に算入されない費用 | <u>1.7</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | <u>21.3</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 子会社の税率差異 | <u>7.9</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在外子会社からの受取配当金 | <u>10.7</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験研究費税額控除 | <u>3.3</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国税額控除 | <u>13.6</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特定外国子会社留保金課税 | <u>2.7</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | <u>0.6</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>51.5</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法定実効税率 | 40.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (調整) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 損金に算入されない費用 | <u>3.7</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | <u>36.8</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 子会社の税率差異 | <u>4.0</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在外子会社からの受取配当金 | <u>31.2</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験研究費税額控除 | <u>6.5</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国税額控除 | <u>29.2</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特定外国子会社留保金課税 | <u>2.1</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | <u>1.7</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>72.9</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

(訂正前)

前連結会計年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

| | 電動工具 (百万円) | ライフ サイエンス機器 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|---------------|-------------------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 136,424 | 5,588 | 142,013 | - | 142,013 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | (-) | - |
| 計 | 136,424 | 5,588 | 142,013 | (-) | 142,013 |
| 営業費用 | 125,702 | 4,090 | 129,792 | (-) | 129,792 |
| 営業利益 | 10,722 | 1,497 | 12,220 | (-) | 12,220 |
| 資産、減価償却費及び 資本的支出 | | | | | |
| 資産 | 142,490 | 10,062 | 152,553 | - | 152,553 |
| 減価償却費 | 4,430 | 202 | 4,632 | - | 4,632 |
| 資本的支出 | 3,322 | 184 | 3,507 | - | 3,507 |

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して、電動工具、ライフサイエンス機器に区分している。

2. 各事業区分の主要製品

| | 主要製品 |
|------------|---|
| 電動工具 | 金工用電動工具、木工用電動工具、コードレス工具、建設用電動工具、 空気工具(釘打機・ネジ打機・釘打機用コンプレッサ)、木工機械、 エンジン工具、園芸用工具、家庭用電動工具、集じん機、墨出し器、 アクセサリ(ダイヤモンド工具、その他消耗部品) |
| ライフサイエンス機器 | 超遠心機、冷却遠心機、小形遠心機、生産用遠心機 |

事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して、電動工具、ライフサイエンス機器に区分している。

3. 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用している。これによる損益への影響は軽微である。

4. 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っている。これによる損益への影響は軽微である。

なお、この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、電動工具事業について、売上高が1,110百万円減少し、営業費用が同額減少している。

5. リース取引に関する会計基準の適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていたが、当連結会計年度より、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。これによる損益への影響は軽微である。

6. 有形固定資産の耐用年数の変更

「追加情報」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置の耐用年数を主として10年から12年に変更している。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、営業費用は、電動工具事業が154百万円、ライフサイエンス機器事業が4百万円減少し、営業利益が同額増加している。

当連結会計年度（自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日）

| | 電動工具 (百万円) | ライフ サイエンス機器 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|---------------|-------------------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 113,388 | 5,778 | 119,166 | - | 119,166 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | (-) | - |
| 計 | 113,388 | 5,778 | 119,166 | (-) | 119,166 |
| 営業費用 | 109,841 | 4,140 | 113,981 | (-) | 113,981 |
| 営業利益 | 3,546 | 1,638 | 5,184 | (-) | 5,184 |
| 資産、減価償却費及び 資本的支出 | | | | | |
| 資産 | 136,778 | 12,203 | 148,982 | - | 148,982 |
| 減価償却費 | 3,703 | 215 | 3,919 | - | 3,919 |
| 資本的支出 | 1,987 | 93 | 2,080 | - | 2,080 |

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して、電動工具、ライフサイエンス機器に区分している。

2. 各事業区分の主要製品

| | 主要製品 |
|------------|--|
| 電動工具 | 金工用電動工具、木工用電動工具、コードレス工具、建設用電動工具、 空気工具（釘打機・ネジ打機・釘打機用コンプレッサ）、木工機械、 エンジン工具、園芸用工具、家庭用電動工具、集じん機、レーザー測定具（墨 出し器・距離計）、アクセサリ（ダイヤモンド工具、その他消耗部品） |
| ライフサイエンス機器 | 超遠心機、冷却遠心機、小形遠心機、生産用連続超遠心機 |

(訂正後)

前連結会計年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

| | 電動工具 (百万円) | ライフ サイエンス機器 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|---------------|-------------------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 133,614 | 5,588 | 139,203 | - | 139,203 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | (-) | - |
| 計 | 133,614 | 5,588 | 139,203 | (-) | 139,203 |
| 営業費用 | 124,012 | 4,090 | 128,103 | (-) | 128,103 |
| 営業利益 | 9,601 | 1,497 | 11,099 | (-) | 11,099 |
| 資産、減価償却費及び 資本的支出 | | | | | |
| 資産 | 139,613 | 10,062 | 149,675 | - | 149,675 |
| 減価償却費 | 4,430 | 202 | 4,632 | - | 4,632 |
| 資本的支出 | 3,322 | 184 | 3,507 | - | 3,507 |

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して、電動工具、ライフサイエンス機器に区分している。

2. 各事業区分の主要製品

| | 主要製品 |
|------------|---|
| 電動工具 | 金工用電動工具、木工用電動工具、コードレス工具、建設用電動工具、 空気工具(釘打機・ネジ打機・釘打機用コンプレッサ)、木工機械、 エンジン工具、園芸用工具、家庭用電動工具、集じん機、墨出し器、 アクセサリ(ダイヤモンド工具、その他消耗部品) |
| ライフサイエンス機器 | 超遠心機、冷却遠心機、小形遠心機、生産用遠心機 |

事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して、電動工具、ライフサイエンス機器に区分している。

3. 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用している。これによる損益への影響は軽微である。

4. 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っている。これによる損益への影響は軽微である。

なお、この変更に伴い、従来の方によった場合と比較して、電動工具事業について、売上高が1,110百万円減少し、営業費用が同額減少している。

5. リース取引に関する会計基準の適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていたが、当連結会計年度より、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。これによる損益への影響は軽微である。

6. 有形固定資産の耐用年数の変更

「追加情報」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置の耐用年数を主として10年から12年に変更している。この変更に伴い、従来の方によった場合と比較して、営業費用は、電動工具事業が154百万円、ライフサイエンス機器事業が4百万円減少し、営業利益が同額増加している。

当連結会計年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

| | 電動工具 (百万円) | ライフ サイエンス機器 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|---------------|-------------------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 109,222 | 5,778 | 115,000 | - | 115,000 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | (-) | - |
| 計 | 109,222 | 5,778 | 115,000 | (-) | 115,000 |
| 営業費用 | 107,222 | 4,140 | 111,362 | (-) | 111,362 |
| 営業利益 | 1,999 | 1,638 | 3,637 | (-) | 3,637 |
| 資産、減価償却費及び 資本的支出 | | | | | |
| 資産 | 132,143 | 12,203 | 144,347 | - | 144,347 |
| 減価償却費 | 3,703 | 215 | 3,919 | - | 3,919 |
| 資本的支出 | 1,987 | 93 | 2,080 | - | 2,080 |

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して、電動工具、ライフサイエンス機器に区分している。

2. 各事業区分の主要製品

| | 主要製品 |
|------------|--|
| 電動工具 | 金工用電動工具、木工用電動工具、コードレス工具、建設用電動工具、 空気工具（釘打機・ネジ打機・釘打機用コンプレッサ）、木工機械、 エンジン工具、園芸用工具、家庭用電動工具、集じん機、レーザー測定具（墨 出し器・距離計）、アクセサリ（ダイヤモンド工具、その他消耗部品） |
| ライフサイエンス機器 | 超遠心機、冷却遠心機、小形遠心機、生産用連続超遠心機 |

【所在地別セグメント情報】

(訂正前)

前連結会計年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

| | 日本 (百万円) | アジア (百万円) | ヨーロッパ (百万円) | 北アメリカ (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-------------------------------|-------------|--------------|----------------|----------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 45,538 | 10,095 | 55,044 | 25,384 | 5,950 | 142,013 | - | 142,013 |
| (2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 29,740 | 45,406 | 256 | 711 | 33 | 76,148 | (76,148) | - |
| 計 | 75,278 | 55,502 | 55,300 | 26,096 | 5,984 | 218,161 | (76,148) | 142,013 |
| 営業費用 | 67,403 | 51,154 | 54,527 | 25,883 | 5,746 | 204,714 | (74,921) | 129,792 |
| 営業利益 | 7,875 | 4,348 | 772 | 213 | 237 | 13,447 | (1,226) | 12,220 |
| 資産 | 82,065 | 32,426 | 48,389 | 20,200 | 2,673 | 185,756 | (33,203) | 152,553 |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国
- (2) ヨーロッパ.....ドイツ、フランス、オランダ、英国
- (3) 北アメリカ.....米国、カナダ
- (4) その他.....オーストラリア

3. 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用している。これによる損益への影響は軽微である。

4. 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っている。これによる損益への影響は軽微である。

なお、この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、北アメリカについて、売上高が1,093百万円減少し、営業費用が同額減少している。また、ヨーロッパについて、売上高が17百万円減少し、営業費用が同額減少している。

5. リース取引に関する会計基準の適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていたが、当連結会計年度より、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。これによる損益への影響は軽微である。

6. 有形固定資産の耐用年数の変更

「追加情報」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置の耐用年数を主として10年から12年に変更している。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、日本について、営業費用が158百万円減少し、営業利益が同額増加している。

当連結会計年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

| | 日本 (百万円) | アジア (百万円) | ヨーロッパ (百万円) | 北アメリカ (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-------------------------------|-------------|--------------|----------------|----------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 40,119 | 7,475 | 43,524 | 22,075 | 5,972 | 119,166 | - | 119,166 |
| (2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 15,753 | 30,784 | 103 | 352 | - | 46,993 | (46,993) | - |
| 計 | 55,872 | 38,259 | 43,627 | 22,427 | 5,972 | 166,159 | (46,993) | 119,166 |
| 営業費用 | 55,681 | 35,088 | 44,151 | 23,735 | 5,901 | 164,560 | (50,578) | 113,981 |
| 営業利益(又は営業損失) | 190 | 3,171 | (524) | (1,308) | 71 | 1,599 | 3,585 | 5,184 |
| 資産 | 82,639 | 27,154 | 45,227 | 17,903 | 3,502 | 176,427 | (27,445) | 148,982 |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国
- (2) ヨーロッパ.....ドイツ、フランス、オランダ、英国
- (3) 北アメリカ.....米国、カナダ
- (4) その他.....オーストラリア

(訂正後)

前連結会計年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

| | 日本 (百万円) | アジア (百万円) | ヨーロッパ (百万円) | 北アメリカ (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-------------------------------|-------------|--------------|----------------|----------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 45,538 | 10,033 | 52,296 | 25,384 | 5,950 | 139,203 | - | 139,203 |
| (2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 29,740 | 45,406 | 256 | 711 | 33 | 76,148 | (76,148) | - |
| 計 | 75,278 | 55,439 | 52,552 | 26,096 | 5,984 | 215,351 | (76,148) | 139,203 |
| 営業費用 | 67,403 | 51,116 | 52,713 | 25,883 | 5,746 | 202,863 | (74,759) | 128,103 |
| 営業利益 | 7,875 | 4,322 | (160) | 213 | 237 | 12,488 | (1,388) | 11,099 |
| 資産 | 82,218 | 32,412 | 45,373 | 20,200 | 2,673 | 182,878 | (33,203) | 149,675 |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国
- (2) ヨーロッパ.....ドイツ、フランス、オランダ、英国
- (3) 北アメリカ.....米国、カナダ
- (4) その他.....オーストラリア

3. 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用している。これによる損益への影響は軽微である。

4. 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っている。これによる損益への影響は軽微である。

なお、この変更に伴い、従来の方によった場合と比較して、北アメリカについて、売上高が1,093百万円減少し、営業費用が同額減少している。また、ヨーロッパについて、売上高が17百万円減少し、営業費用が同額減少している。

5. リース取引に関する会計基準の適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていたが、当連結会計年度より、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。これによる損益への影響は軽微である。

6. 有形固定資産の耐用年数の変更

「追加情報」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置の耐用年数を主として10年から12年に変更している。この変更に伴い、従来の方によった場合と比較して、日本について、営業費用が158百万円減少し、営業利益が同額増加している。

当連結会計年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

| | 日本 (百万円) | アジア (百万円) | ヨーロッパ (百万円) | 北アメリカ (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-------------------------------|-------------|--------------|----------------|----------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高及び営業損益 | | | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 40,119 | 7,383 | 39,810 | 21,714 | 5,972 | 115,000 | - | 115,000 |
| (2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 15,753 | 30,784 | 103 | 352 | - | 46,993 | (46,993) | - |
| 計 | 55,872 | 38,168 | 39,913 | 22,066 | 5,972 | 161,993 | (46,993) | 115,000 |
| 営業費用 | 55,681 | 35,007 | 41,806 | 23,457 | 5,901 | 161,855 | (50,493) | 111,362 |
| 営業利益(又は営業損失) | 190 | 3,160 | (1,893) | (1,391) | 71 | 137 | (3,500) | 3,637 |
| 資産 | 82,654 | 27,151 | 40,650 | 17,833 | 3,502 | 171,792 | (27,445) | 144,347 |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国
- (2) ヨーロッパ.....ドイツ、フランス、オランダ、英国
- (3) 北アメリカ.....米国、カナダ
- (4) その他.....オーストラリア

【海外売上高】

(訂正前)

前連結会計年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

| | アジア | ヨーロッパ | 北アメリカ | その他 | 計 |
|----------------------|--------|--------|--------|-------|---------|
| 海外売上高(百万円) | 10,995 | 55,888 | 27,110 | 6,924 | 100,919 |
| 連結売上高(百万円) | - | - | - | - | 142,013 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 7.7 | 39.4 | 19.1 | 4.9 | 71.1 |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国
- (2) ヨーロッパ.....ドイツ、フランス、オランダ、英国、ロシア
- (3) 北アメリカ.....米国、カナダ
- (4) その他.....オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

4. 連結財務諸表作成における在外子会社への会計処理に関する当面の取扱いの適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っている。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、北アメリカについて、売上高が1,093百万円減少している。また、ヨーロッパについて、売上高が17百万円減少している。

当連結会計年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

| | アジア | ヨーロッパ | 北アメリカ | その他 | 計 |
|----------------------|-------|--------|--------|-------|---------|
| 海外売上高(百万円) | 8,269 | 44,387 | 23,068 | 6,637 | 82,363 |
| 連結売上高(百万円) | - | - | - | - | 119,166 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 6.9 | 37.2 | 19.4 | 5.6 | 69.1 |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国
- (2) ヨーロッパ.....ドイツ、フランス、オランダ、英国、ロシア
- (3) 北アメリカ.....米国、カナダ
- (4) その他.....オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

(訂正後)

前連結会計年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

| | アジア | ヨーロッパ | 北アメリカ | その他 | 計 |
|----------------------|--------|--------|--------|-------|---------|
| 海外売上高(百万円) | 10,933 | 53,141 | 27,110 | 6,924 | 98,109 |
| 連結売上高(百万円) | - | - | - | - | 139,203 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 7.8 | 38.2 | 19.5 | 5.0 | 70.5 |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国
- (2) ヨーロッパ.....ドイツ、フランス、オランダ、英国、ロシア
- (3) 北アメリカ.....米国、カナダ
- (4) その他.....オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

4. 連結財務諸表作成における在外子会社への会計処理に関する当面の取扱いの適用

「会計処理の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っている。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、北アメリカについて、売上高が1,093百万円減少している。また、ヨーロッパについて、売上高が17百万円減少している。

当連結会計年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

| | アジア | ヨーロッパ | 北アメリカ | その他 | 計 |
|----------------------|-------|--------|--------|-------|---------|
| 海外売上高(百万円) | 8,205 | 40,670 | 22,707 | 6,613 | 78,197 |
| 連結売上高(百万円) | - | - | - | - | 115,000 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 7.1 | 35.4 | 19.7 | 5.8 | 68.0 |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国
- (2) ヨーロッパ.....ドイツ、フランス、オランダ、英国、ロシア
- (3) 北アメリカ.....米国、カナダ
- (4) その他.....オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

(1株当たり情報)

(訂正前)

| 前連結会計年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | | 当連結会計年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) | |
|--|-----------|--|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 1,097.81円 | 1株当たり純資産額 | 1,096.75円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 49.66円 | 1株当たり当期純利益金額 | 32.88円 |
| 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 | 49.66円 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 | 32.88円 |
| 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。 | | 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。 | |
| 1株当たり当期純利益金額 | | 1株当たり当期純利益金額 | |
| 当期純利益(百万円) | 5,034 | 当期純利益(百万円) | 3,333 |
| 普通株式に係る当期純利益(百万円) | 5,034 | 普通株式に係る当期純利益(百万円) | 3,333 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 101,382 | 普通株式の期中平均株式数(千株) | 101,398 |
| 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 | | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 | |
| 当期純利益調整額(百万円) | - | 当期純利益調整額(百万円) | - |
| 普通株式増加数(千株) | 10 | 普通株式増加数(千株) | 2 |
| (うち新株予約権(千株)) | 10 | (うち新株予約権(千株)) | 2 |

(訂正後)

| 前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | | 当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) | |
|--|-----------|--|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 1,065.85円 | 1株当たり純資産額 | 1,043.41円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 34.82円 | 1株当たり当期純利益金額 | 9.54円 |
| 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 | 34.82円 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 | 9.54円 |
| 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。 | | 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。 | |
| 1株当たり当期純利益金額 | | 1株当たり当期純利益金額 | |
| 当期純利益(百万円) | 3,530 | 当期純利益(百万円) | 967 |
| 普通株式に係る当期純利益(百万円) | 3,530 | 普通株式に係る当期純利益(百万円) | 967 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 101,382 | 普通株式の期中平均株式数(千株) | 101,398 |
| | | | |
| 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 | | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 | |
| 当期純利益調整額(百万円) | - | 当期純利益調整額(百万円) | - |
| 普通株式増加数(千株) | 10 | 普通株式増加数(千株) | 2 |
| (うち新株予約権(千株)) | 10 | (うち新株予約権(千株)) | 2 |

(2)【その他】

(訂正前)

当連結会計年度における四半期情報

| | 第1四半期 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日 | 第2四半期 自平成21年7月1日 至平成21年9月30日 | 第3四半期 自平成21年10月1日 至平成21年12月31日 | 第4四半期 自平成22年1月1日 至平成22年3月31日 |
|-------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 売上高(百万円) | 28,287 | 30,008 | 28,374 | 32,495 |
| 税金等調整前四半期純利益 金額(百万円) | 972 | 2,107 | 997 | 1,962 |
| 四半期純利益金額 (百万円) | 253 | 1,385 | 418 | 1,276 |
| 1株当たり四半期純利益金 額(円) | 2.50 | 13.66 | 4.13 | 12.59 |

(訂正後)

当連結会計年度における四半期情報

| | 第1四半期 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日 | 第2四半期 自平成21年7月1日 至平成21年9月30日 | 第3四半期 自平成21年10月1日 至平成21年12月31日 | 第4四半期 自平成22年1月1日 至平成22年3月31日 |
|---|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 売上高(百万円) | 27,177 | 28,990 | 27,719 | 31,112 |
| 税金等調整前四半期 純利益金額(百万 円) | 531 | 1,643 | 502 | 1,133 |
| 四半期純利益金額又 は四半期純損失金額 () (百万円) | 106 | 831 | 68 | 312 |
| 1株当たり四半期純 利益金額又は1株当 たり四半期純損失金 額() (円) | 1.05 | 8.20 | 0.68 | 3.08 |

2【財務諸表等】

(1)【財務諸表】

【貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成21年3月31日) | 当事業年度 (平成22年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,419 | 1,743 |
| 関係会社預け金 | 5 | 12,735 |
| 受取手形 | 463 | 436 |
| 売掛金 | 1 17,679 | 1 17,080 |
| 商品及び製品 | 10,890 | 9,133 |
| 仕掛品 | 1,231 | 1,141 |
| 原材料及び貯蔵品 | 341 | 389 |
| 未収入金 | 3 2,160 | 238 |
| 関係会社短期貸付金 | 10,454 | 10,319 |
| 繰延税金資産 | 1,534 | 1,275 |
| その他 | 128 | 151 |
| 貸倒引当金 | 20 | 20 |
| 流動資産合計 | 53,290 | 54,625 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 23,299 | 23,311 |
| 減価償却累計額 | 14,329 | 14,844 |
| 建物(純額) | 8,969 | 8,466 |
| 構築物 | 2,524 | 2,524 |
| 減価償却累計額 | 1,849 | 1,903 |
| 構築物(純額) | 675 | 620 |
| 機械及び装置 | 29,264 | 28,608 |
| 減価償却累計額 | 25,067 | 25,170 |
| 機械及び装置(純額) | 4,197 | 3,437 |
| 車両運搬具 | 577 | 545 |
| 減価償却累計額 | 454 | 467 |
| 車両運搬具(純額) | 123 | 77 |
| 工具、器具及び備品 | 5,282 | 4,648 |
| 減価償却累計額 | 4,478 | 4,138 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 803 | 509 |
| 土地 | 1,808 | 1,807 |
| 建設仮勘定 | 17 | 5 |
| 有形固定資産合計 | 16,595 | 14,925 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 48 | 45 |
| 施設利用権 | 4 | 3 |
| ソフトウェア | 1,475 | 1,241 |
| 無形固定資産合計 | 1,528 | 1,291 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 793 | 1,054 |
| 関係会社株式 | 5 48,613 | 5 48,222 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成21年3月31日) | 当事業年度 (平成22年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 従業員に対する長期貸付金 | 430 | 350 |
| 繰延税金資産 | 745 | 1,163 |
| その他 | 1,587 | 1,359 |
| 海外投資等損失引当金 | 574 | - |
| 投資その他の資産合計 | 51,596 | 52,149 |
| 固定資産合計 | 69,720 | 68,366 |
| 資産合計 | 123,010 | 122,991 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1, 4 3,884 | 1, 4 3,476 |
| 未払金 | 1,176 | 3 682 |
| 未払費用 | 2,537 | 2,502 |
| 未払法人税等 | - | 191 |
| 預り金 | 266 | 444 |
| 役員賞与引当金 | 83 | 90 |
| その他 | 369 | - |
| 流動負債合計 | 8,317 | 7,387 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 2,333 | 2,168 |
| 役員退職慰労引当金 | 385 | 471 |
| 固定負債合計 | 2,718 | 2,640 |
| 負債合計 | 11,036 | 10,027 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 17,813 | 17,813 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 21,388 | 21,388 |
| その他資本剰余金 | 166 | 168 |
| 資本剰余金合計 | 21,555 | 21,557 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 3,080 | 3,080 |
| その他利益剰余金 | 83,192 | 84,223 |
| 別途積立金 | 35,300 | 35,300 |
| 繰越利益剰余金 | 47,892 | 48,923 |
| 利益剰余金合計 | 86,273 | 87,304 |
| 自己株式 | 13,642 | 13,635 |
| 株主資本合計 | 112,000 | 113,040 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 16 | 76 |
| 繰延ヘッジ損益 | 9 | - |
| 評価・換算差額等合計 | 26 | 76 |
| 純資産合計 | 111,974 | 112,964 |
| 負債純資産合計 | 123,010 | 122,991 |

(訂正後)

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成21年3月31日) | 当事業年度 (平成22年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,419 | 1,743 |
| 関係会社預け金 | 5 | 12,735 |
| 受取手形 | 463 | 436 |
| 売掛金 | 1 17,679 | 1 17,080 |
| 商品及び製品 | 10,890 | 9,133 |
| 仕掛品 | 1,231 | 1,141 |
| 原材料及び貯蔵品 | 341 | 389 |
| 未収入金 | 3 2,160 | 238 |
| 関係会社短期貸付金 | 10,454 | 10,319 |
| 繰延税金資産 | 1,534 | 1,275 |
| その他 | 128 | 151 |
| 貸倒引当金 | 1,039 | 1,802 |
| 流動資産合計 | 52,270 | 52,843 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 23,299 | 23,311 |
| 減価償却累計額 | 14,329 | 14,844 |
| 建物(純額) | 8,969 | 8,466 |
| 構築物 | 2,524 | 2,524 |
| 減価償却累計額 | 1,849 | 1,903 |
| 構築物(純額) | 675 | 620 |
| 機械及び装置 | 29,264 | 28,608 |
| 減価償却累計額 | 25,067 | 25,170 |
| 機械及び装置(純額) | 4,197 | 3,437 |
| 車両運搬具 | 577 | 545 |
| 減価償却累計額 | 454 | 467 |
| 車両運搬具(純額) | 123 | 77 |
| 工具、器具及び備品 | 5,282 | 4,648 |
| 減価償却累計額 | 4,478 | 4,138 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 803 | 509 |
| 土地 | 1,808 | 1,807 |
| 建設仮勘定 | 17 | 5 |
| 有形固定資産合計 | 16,595 | 14,925 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 48 | 45 |
| 施設利用権 | 4 | 3 |
| ソフトウェア | 1,475 | 1,241 |
| 無形固定資産合計 | 1,528 | 1,291 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 793 | 1,054 |
| 関係会社株式 | 5 47,331 | 5 46,940 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成21年3月31日) | 当事業年度 (平成22年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 従業員に対する長期貸付金 | 430 | 350 |
| 繰延税金資産 | 745 | 1,163 |
| その他 | 1,587 | 1,359 |
| 投資その他の資産合計 | 50,889 | 50,867 |
| 固定資産合計 | 69,013 | 67,084 |
| 資産合計 | 121,283 | 119,927 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1, 4 3,884 | 1, 4 3,476 |
| 未払金 | 1,176 | 682 |
| 未払費用 | 2,537 | 2,502 |
| 未払法人税等 | - | 191 |
| 預り金 | 266 | 444 |
| 役員賞与引当金 | 83 | 90 |
| その他 | 369 | - |
| 流動負債合計 | 8,317 | 7,387 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 2,333 | 2,168 |
| 役員退職慰労引当金 | 385 | 471 |
| 関係会社支援損失引当金 | 1,185 | 2,144 |
| 固定負債合計 | 3,904 | 4,784 |
| 負債合計 | 12,221 | 12,171 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 17,813 | 17,813 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 21,388 | 21,388 |
| その他資本剰余金 | 166 | 168 |
| 資本剰余金合計 | 21,555 | 21,557 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 3,080 | 3,080 |
| その他利益剰余金 | 80,280 | 79,015 |
| 別途積立金 | 35,300 | 35,300 |
| 繰越利益剰余金 | 44,980 | 43,715 |
| 利益剰余金合計 | 83,361 | 82,096 |
| 自己株式 | 13,642 | 13,635 |
| 株主資本合計 | 109,088 | 107,832 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 16 | 76 |
| 繰延ヘッジ損益 | 9 | - |
| 評価・換算差額等合計 | 26 | 76 |
| 純資産合計 | 109,062 | 107,755 |
| 負債純資産合計 | 121,283 | 119,927 |

【損益計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月 31日) | | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月 31日) | |
|---------------|--|--------|--|--------|
| 売上高 | 1 | 69,048 | 1 | 49,306 |
| 売上原価 | | | | |
| 製品期首たな卸高 | | 7,214 | | 9,334 |
| 当期製品製造原価 | 1, 4 | 38,852 | 1, 4 | 26,081 |
| 当期商品仕入高 | 1 | 5,390 | 1 | 4,491 |
| 合計 | | 51,456 | | 39,907 |
| 他勘定振替高 | 2 | 49 | 2 | 530 |
| 製品期末たな卸高 | | 9,334 | | 7,790 |
| 製品売上原価 | | 42,171 | | 32,646 |
| 売上総利益 | | 26,877 | | 16,659 |
| 販売費及び一般管理費 | 3, 4 | 18,160 | 3, 4 | 16,175 |
| 営業利益 | | 8,716 | | 484 |
| 営業外収益 | | | | |
| 受取利息 | | 196 | | 136 |
| 受取配当金 | 1 | 3,511 | 1 | 2,875 |
| 不動産賃貸料 | | 528 | | 576 |
| その他 | | 44 | | 54 |
| 営業外収益合計 | | 4,281 | | 3,643 |
| 営業外費用 | | | | |
| 支払利息 | | 2 | | 0 |
| 固定資産除却損 | | 43 | | 50 |
| 為替差損 | | 828 | | 8 |
| 賃貸不動産維持費 | | 292 | | 275 |
| 海外投資等損失引当金繰入額 | | 145 | | - |
| その他 | | 29 | | 17 |
| 営業外費用合計 | | 1,342 | | 353 |
| 経常利益 | | 11,655 | | 3,774 |
| 特別利益 | | | | |
| 土地売却益 | | 964 | | 318 |
| 投資有価証券売却益 | | 245 | | 214 |
| 海外投資等損失引当金戻入益 | | - | | 574 |
| 特別利益合計 | | 1,210 | | 1,107 |
| 特別損失 | | | | |
| 特別退職金 | | 1,460 | | - |
| 関係会社株式評価損 | | 245 | | 967 |
| 特別損失合計 | | 1,705 | | 967 |
| 税引前当期純利益 | | 11,160 | | 3,914 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 2,246 | | 573 |
| 法人税等調整額 | | 778 | | 124 |
| 法人税等合計 | | 3,024 | | 449 |
| 当期純利益 | | 8,136 | | 3,464 |

(訂正後)

(単位：百万円)

| | 前事業年度 | | 当事業年度 | |
|----------------|-----------------------------------|--------|-----------------------------------|--------|
| | (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月 31日) | | (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月 31日) | |
| | 1 | 69,048 | 1 | 49,306 |
| 売上高 | | | | |
| 売上原価 | | | | |
| 製品期首たな卸高 | | 7,214 | | 9,334 |
| 当期製品製造原価 | 1, 4 | 38,852 | 1, 4 | 26,081 |
| 当期商品仕入高 | 1 | 5,390 | 1 | 4,491 |
| 合計 | | 51,456 | | 39,907 |
| 他勘定振替高 | 2 | 49 | 2 | 530 |
| 製品期末たな卸高 | | 9,334 | | 7,790 |
| 製品売上原価 | | 42,171 | | 32,646 |
| 売上総利益 | | 26,877 | | 16,659 |
| 販売費及び一般管理費 | 3, 4 | 18,160 | 3, 4 | 16,175 |
| 営業利益 | | 8,716 | | 484 |
| 営業外収益 | | | | |
| 受取利息 | | 196 | | 136 |
| 受取配当金 | 1 | 3,511 | 1 | 2,875 |
| 不動産賃貸料 | | 528 | | 576 |
| その他 | | 44 | | 54 |
| 営業外収益合計 | | 4,281 | | 3,643 |
| 営業外費用 | | | | |
| 支払利息 | | 2 | | 0 |
| 固定資産除却損 | | 43 | | 50 |
| 為替差損 | | 828 | | 8 |
| 賃貸不動産維持費 | | 292 | | 275 |
| その他 | | 29 | | 17 |
| 営業外費用合計 | | 1,196 | | 353 |
| 経常利益 | | 11,800 | | 3,774 |
| 特別利益 | | | | |
| 土地売却益 | | 964 | | 318 |
| 投資有価証券売却益 | | 245 | | 214 |
| 特別利益合計 | | 1,210 | | 532 |
| 特別損失 | | | | |
| 特別退職金 | | 1,460 | | - |
| 関係会社株式評価損 | | 245 | | 967 |
| 貸倒損失 | | 218 | | 762 |
| 関係会社支援損失引当金繰入額 | | 977 | | 958 |
| 特別損失合計 | | 2,901 | | 2,689 |
| 税引前当期純利益 | | 10,110 | | 1,618 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 2,246 | | 573 |
| 法人税等調整額 | | 778 | | 124 |
| 法人税等合計 | | 3,024 | | 449 |
| 当期純利益 | | 7,086 | | 1,168 |

【株主資本等変動計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|----------|---|---|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 前期末残高 | 17,813 | 17,813 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 17,813 | 17,813 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | | |
| 前期末残高 | 21,388 | 21,388 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 21,388 | 21,388 |
| その他資本剰余金 | | |
| 前期末残高 | 144 | 166 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の処分 | 22 | 1 |
| 当期変動額合計 | 22 | 1 |
| 当期末残高 | 166 | 168 |
| 資本剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | 21,533 | 21,555 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の処分 | 22 | 1 |
| 当期変動額合計 | 22 | 1 |
| 当期末残高 | 21,555 | 21,557 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | | |
| 前期末残高 | 3,080 | 3,080 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 3,080 | 3,080 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | | |
| 前期末残高 | 35,300 | 35,300 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 35,300 | 35,300 |
| 繰越利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | 44,839 | 47,892 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|---------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 当期純利益 | 8,136 | 3,464 |
| 当期変動額合計 | 3,052 | 1,031 |
| 当期末残高 | 47,892 | 48,923 |
| 利益剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | 83,220 | 86,273 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 8,136 | 3,464 |
| 当期変動額合計 | 3,052 | 1,031 |
| 当期末残高 | 86,273 | 87,304 |
| 自己株式 | | |
| 前期末残高 | 12,340 | 13,642 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 23 | 10 |
| 当期変動額合計 | 1,302 | 7 |
| 当期末残高 | 13,642 | 13,635 |
| 株主資本合計 | | |
| 前期末残高 | 110,227 | 112,000 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 8,136 | 3,464 |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 45 | 11 |
| 当期変動額合計 | 1,772 | 1,040 |
| 当期末残高 | 112,000 | 113,040 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 前期末残高 | 608 | 16 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 625 | 59 |
| 当期変動額合計 | 625 | 59 |
| 当期末残高 | 16 | 76 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 前期末残高 | - | 9 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 9 | 9 |
| 当期変動額合計 | 9 | 9 |
| 当期末残高 | 9 | - |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|---------------------|---|---|
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 前期末残高 | 608 | 26 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 635 | 50 |
| 当期変動額合計 | 635 | 50 |
| 当期末残高 | 26 | 76 |
| 純資産合計 | | |
| 前期末残高 | 110,836 | 111,974 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 8,136 | 3,464 |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 45 | 11 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 635 | 50 |
| 当期変動額合計 | 1,137 | 989 |
| 当期末残高 | 111,974 | 112,964 |

(訂正後)

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月 31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月 31日) |
|----------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 前期末残高 | 17,813 | 17,813 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 17,813 | 17,813 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | | |
| 前期末残高 | 21,388 | 21,388 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 21,388 | 21,388 |
| その他資本剰余金 | | |
| 前期末残高 | 144 | 166 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の処分 | 22 | 1 |
| 当期変動額合計 | 22 | 1 |
| 当期末残高 | 166 | 168 |
| 資本剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | 21,533 | 21,555 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の処分 | 22 | 1 |
| 当期変動額合計 | 22 | 1 |
| 当期末残高 | 21,555 | 21,557 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | | |
| 前期末残高 | 3,080 | 3,080 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 3,080 | 3,080 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | | |
| 前期末残高 | 35,300 | 35,300 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 35,300 | 35,300 |
| 繰越利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | 42,977 | 44,980 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|---------------------|---|---|
| 当期純利益 | 7,086 | 1,168 |
| 当期変動額合計 | 2,002 | 1,264 |
| 当期末残高 | 44,980 | 43,715 |
| 利益剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | 81,358 | 83,361 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 7,086 | 1,168 |
| 当期変動額合計 | 2,002 | 1,264 |
| 当期末残高 | 83,361 | 82,096 |
| 自己株式 | | |
| 前期末残高 | 12,340 | 13,642 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 23 | 10 |
| 当期変動額合計 | 1,302 | 7 |
| 当期末残高 | 13,642 | 13,635 |
| 株主資本合計 | | |
| 前期末残高 | 108,365 | 109,088 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 7,086 | 1,168 |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 45 | 11 |
| 当期変動額合計 | 722 | 1,255 |
| 当期末残高 | 109,088 | 107,832 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 前期末残高 | 608 | 16 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 625 | 59 |
| 当期変動額合計 | 625 | 59 |
| 当期末残高 | 16 | 76 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 前期末残高 | - | 9 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 9 | 9 |
| 当期変動額合計 | 9 | 9 |
| 当期末残高 | 9 | - |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|---------------------|---|---|
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 前期末残高 | 608 | 26 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 635 | 50 |
| 当期変動額合計 | 635 | 50 |
| 当期末残高 | 26 | 76 |
| 純資産合計 | | |
| 前期末残高 | 108,974 | 109,062 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 5,083 | 2,433 |
| 当期純利益 | 7,086 | 1,168 |
| 自己株式の取得 | 1,326 | 2 |
| 自己株式の処分 | 45 | 11 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 635 | 50 |
| 当期変動額合計 | 87 | 1,306 |
| 当期末残高 | 109,062 | 107,755 |

【重要な会計方針】

(訂正前)

| | 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|-----------------------|--|--|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | (1) 子会社株式及び関連会社株式 ...移動平均法に基づく原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの ...期末日の市場価格等に基づく時 価法(評価差額は全部純資産直 入法により処理し、売却原価は移 動平均法により算定している) 時価のないもの ...移動平均法に基づく原価法 | (1) 子会社株式及び関連会社株式 ...移動平均法に基づく原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの ...期末日の市場価格等に基づく時 価法(評価差額は全部純資産直 入法により処理し、売却原価は移 動平均法により算定している) 時価のないもの ...移動平均法に基づく原価法 |
| 2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法 | デリバティブ ...時価法 | デリバティブ ...時価法 |
| 3. たな卸資産の評価基準及び評価方法 | (1) 商品及び製品・原材料及び貯蔵品 ...移動平均法に基づく原価法(貸 借対照表価額は収益性の低下に 基づく簿価切下げの方法により 算定) (2) 仕掛品 ...個別法に基づく原価法(貸借対 照表価額は収益性の低下に基づ く簿価切下げの方法により算 定) | (1) 商品及び製品・原材料及び貯蔵品 ...移動平均法に基づく原価法(貸 借対照表価額は収益性の低下に 基づく簿価切下げの方法により 算定) (2) 仕掛品 ...個別法に基づく原価法(貸借対 照表価額は収益性の低下に基づ く簿価切下げの方法により算 定) |
| 4. 固定資産の減価償却の方法 | (1) 有形固定資産(リース資産を除く) 建物(附属設備を含む)については 定額法、その他については定率法を採 用している。なお、主な耐用年数は以 下のとおりである。 建物 3年~50年 機械及び装置 4年~12年 工具器具備品 2年~20年 (2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法を採用している。 ただし、ソフトウェア(自社利用分) については社内における見込利用可 能期間による定額法を採用している。 (3) リース資産 所有権移転ファイナンス・リース取 引に係るリース資産 自己所有の固定資産に適用する減価 償却方法と同一の方法を採用してい る。 所有権移転外ファイナンス・リース 取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額 を零とする定額法を採用している。 | (1) 有形固定資産(リース資産を除く) 建物(附属設備を含む)については 定額法、その他については定率法を採 用している。なお、主な耐用年数は以 下のとおりである。 建物 3年~50年 機械及び装置 4年~12年 工具器具備品 2年~20年 (2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法を採用している。 ただし、ソフトウェア(自社利用分) については社内における見込利用可 能期間による定額法を採用している。 (3) リース資産 所有権移転ファイナンス・リース取 引に係るリース資産 自己所有の固定資産に適用する減価 償却方法と同一の方法を採用してい る。 所有権移転外ファイナンス・リース 取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額 を零とする定額法を採用している。 |

| | 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) | | | | | | | | |
|------------------|---|--|-------|------------------|-------------------|---|-------|-------|------------------|-------------------|
| 5. 引当金の計上基準 | <p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。</p> <p>(2) 海外投資等損失引当金 海外事業法人に対する投資損失に備えるため、当該法人に対する投資の為替変動損失及び当該法人の財政状態等を基礎として計上している。</p> <p>(3) 役員賞与引当金 役員賞与の支出に備えて、支給見込額のうち当事業年度負担額を計上している。</p> <p>(4) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。 過去勤務債務については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（15年）による按分額を費用処理している。 数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（15年）による按分額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理している。</p> <p>(5) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、規程による必要額を計上している。</p> | <p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。</p> <p>(2) _____</p> <p>(3) 役員賞与引当金 役員賞与の支出に備えて、支給見込額のうち当事業年度負担額を計上している。</p> <p>(4) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。 過去勤務債務については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（15年）による按分額を費用処理している。 数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（15年）による按分額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理している。</p> <p>(5) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、規程による必要額を計上している。</p> | | | | | | | | |
| 6. ヘッジ会計の方法 | <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっている。 なお、要件を満たしている金利通貨スワップ取引については、金利スワップと通貨スワップを一体としてそれぞれ特例処理及び振当処理によっている。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ヘッジ手段</th> <th>ヘッジ対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金利通貨スワップ 為替予約</td> <td>外貨建貸付金外 貨建予定取引</td> </tr> </tbody> </table> | ヘッジ手段 | ヘッジ対象 | 金利通貨スワップ 為替予約 | 外貨建貸付金外 貨建予定取引 | <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっている。 なお、要件を満たしている金利通貨スワップ取引については、金利スワップと通貨スワップを一体としてそれぞれ特例処理及び振当処理によっている。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ヘッジ手段</th> <th>ヘッジ対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金利通貨スワップ 為替予約</td> <td>外貨建貸付金外 貨建予定取引</td> </tr> </tbody> </table> | ヘッジ手段 | ヘッジ対象 | 金利通貨スワップ 為替予約 | 外貨建貸付金外 貨建予定取引 |
| ヘッジ手段 | ヘッジ対象 | | | | | | | | | |
| 金利通貨スワップ 為替予約 | 外貨建貸付金外 貨建予定取引 | | | | | | | | | |
| ヘッジ手段 | ヘッジ対象 | | | | | | | | | |
| 金利通貨スワップ 為替予約 | 外貨建貸付金外 貨建予定取引 | | | | | | | | | |

| | 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|-----------------------|--|--|
| | <p>(3) ヘッジ方針 外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引に係る為替相場の変動リスク及び金利変動リスクを回避するために、必要な範囲内で利用している。</p> <p>(4) ヘッジの有効性評価の方法 為替予約はヘッジ手段とヘッジ対象に関する重要な条件(通貨、期間、金額等)が同一であり、ヘッジ開始時及びその後も継続して相場変動又はキャッシュ・フロー変動を相殺するものと想定することができるため、ヘッジの有効性の判定は省略している。</p> <p>また、金利スワップは特例処理の適用要件を満たしており有効性が保証されているため、通貨スワップは為替相場の変動によるキャッシュ・フローの変動を完全に相殺するものと想定されるため、ヘッジの有効性の判定は省略している。</p> | <p>(3) ヘッジ方針 外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引に係る為替相場の変動リスク及び金利変動リスクを回避するために、必要な範囲内で利用している。</p> <p>(4) ヘッジの有効性評価の方法 為替予約はヘッジ手段とヘッジ対象に関する重要な条件(通貨、期間、金額等)が同一であり、ヘッジ開始時及びその後も継続して相場変動又はキャッシュ・フロー変動を相殺するものと想定することができるため、ヘッジの有効性の判定は省略している。</p> <p>また、金利スワップは特例処理の適用要件を満たしており有効性が保証されているため、通貨スワップは為替相場の変動によるキャッシュ・フローの変動を完全に相殺するものと想定されるため、ヘッジの有効性の判定は省略している。</p> |
| 7. その他財務諸表作成のための重要な事項 | <p>消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。</p> | <p>消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。</p> |

(訂正後)

| | 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|-----------------------|--|--|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | (1) 子会社株式及び関連会社株式 ...移動平均法に基づく原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの ...期末日の市場価格等に基づく時 価法(評価差額は全部純資産直 入法により処理し、売却原価は移 動平均法により算定している) 時価のないもの ...移動平均法に基づく原価法 | (1) 子会社株式及び関連会社株式 ...移動平均法に基づく原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの ...期末日の市場価格等に基づく時 価法(評価差額は全部純資産直 入法により処理し、売却原価は移 動平均法により算定している) 時価のないもの ...移動平均法に基づく原価法 |
| 2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法 | デリバティブ ...時価法 | デリバティブ ...時価法 |
| 3. たな卸資産の評価基準及び評価方法 | (1) 商品及び製品・原材料及び貯蔵品 ...移動平均法に基づく原価法(貸 借対照表価額は収益性の低下に 基づく簿価切下げの方法により 算定) (2) 仕掛品 ...個別法に基づく原価法(貸借対 照表価額は収益性の低下に基づ く簿価切下げの方法により算 定) | (1) 商品及び製品・原材料及び貯蔵品 ...移動平均法に基づく原価法(貸 借対照表価額は収益性の低下に 基づく簿価切下げの方法により 算定) (2) 仕掛品 ...個別法に基づく原価法(貸借対 照表価額は収益性の低下に基づ く簿価切下げの方法により算 定) |
| 4. 固定資産の減価償却の方法 | (1) 有形固定資産(リース資産を除く) 建物(附属設備を含む)については 定額法、その他については定率法を採 用している。なお、主な耐用年数は以 下のとおりである。 建物 3年~50年 機械及び装置 4年~12年 工具器具備品 2年~20年 (2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法を採用している。 ただし、ソフトウェア(自社利用分) については社内における見込利用可 能期間による定額法を採用している。 (3) リース資産 所有権移転ファイナンス・リース取 引に係るリース資産 自己所有の固定資産に適用する減価 償却方法と同一の方法を採用してい る。 所有権移転外ファイナンス・リース 取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額 を零とする定額法を採用している。 | (1) 有形固定資産(リース資産を除く) 建物(附属設備を含む)については 定額法、その他については定率法を採 用している。なお、主な耐用年数は以 下のとおりである。 建物 3年~50年 機械及び装置 4年~12年 工具器具備品 2年~20年 (2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法を採用している。 ただし、ソフトウェア(自社利用分) については社内における見込利用可 能期間による定額法を採用している。 (3) リース資産 所有権移転ファイナンス・リース取 引に係るリース資産 自己所有の固定資産に適用する減価 償却方法と同一の方法を採用してい る。 所有権移転外ファイナンス・リース 取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額 を零とする定額法を採用している。 |

| | 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) | | | | | | | | |
|------------------|---|---|-------|------------------|-------------------|---|-------|-------|------------------|-------------------|
| 5. 引当金の計上基準 | <p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員賞与の支出に備えて、支給見込額のうち当事業年度負担額を計上している。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。 過去勤務債務については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（15年）による按分額を費用処理している。 数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（15年）による按分額をそれぞれ発生の日次事業年度から費用処理している。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、規程による必要額を計上している。</p> <p>(5) 関係会社支援損失引当金 <u>債務超過関係会社の支援に伴う損失に備えるため、関係会社の財政状態等を勘案し、債務超過額のうち、当該関係会社に対して計上している貸倒引当金を超過する金額について計上している。</u></p> | <p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員賞与の支出に備えて、支給見込額のうち当事業年度負担額を計上している。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。 過去勤務債務については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（15年）による按分額を費用処理している。 数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（15年）による按分額をそれぞれ発生の日次事業年度から費用処理している。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、規程による必要額を計上している。</p> <p>(5) 関係会社支援損失引当金 <u>債務超過関係会社の支援に伴う損失に備えるため、関係会社の財政状態等を勘案し、債務超過額のうち、当該関係会社に対して計上している貸倒引当金を超過する金額について計上している。</u></p> | | | | | | | | |
| 6. ヘッジ会計の方法 | <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっている。 なお、要件を満たしている金利通貨スワップ取引については、金利スワップと通貨スワップを一体としてそれぞれ特例処理及び振当処理によっている。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ヘッジ手段</th> <th>ヘッジ対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金利通貨スワップ 為替予約</td> <td>外貨建貸付金外 貨建予定取引</td> </tr> </tbody> </table> | ヘッジ手段 | ヘッジ対象 | 金利通貨スワップ 為替予約 | 外貨建貸付金外 貨建予定取引 | <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっている。 なお、要件を満たしている金利通貨スワップ取引については、金利スワップと通貨スワップを一体としてそれぞれ特例処理及び振当処理によっている。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ヘッジ手段</th> <th>ヘッジ対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金利通貨スワップ 為替予約</td> <td>外貨建貸付金外 貨建予定取引</td> </tr> </tbody> </table> | ヘッジ手段 | ヘッジ対象 | 金利通貨スワップ 為替予約 | 外貨建貸付金外 貨建予定取引 |
| ヘッジ手段 | ヘッジ対象 | | | | | | | | | |
| 金利通貨スワップ 為替予約 | 外貨建貸付金外 貨建予定取引 | | | | | | | | | |
| ヘッジ手段 | ヘッジ対象 | | | | | | | | | |
| 金利通貨スワップ 為替予約 | 外貨建貸付金外 貨建予定取引 | | | | | | | | | |

| | 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | 当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|-----------------------|--|--|
| | <p>(3) ヘッジ方針 外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引に係る為替相場の変動リスク及び金利変動リスクを回避するために、必要な範囲内で利用している。</p> <p>(4) ヘッジの有効性評価の方法 為替予約はヘッジ手段とヘッジ対象に関する重要な条件(通貨、期間、金額等)が同一であり、ヘッジ開始時及びその後も継続して相場変動又はキャッシュ・フロー変動を相殺するものと想定することができるため、ヘッジの有効性の判定は省略している。</p> <p>また、金利スワップは特例処理の適用要件を満たしており有効性が保証されているため、通貨スワップは為替相場の変動によるキャッシュ・フローの変動を完全に相殺するものと想定されるため、ヘッジの有効性の判定は省略している。</p> | <p>(3) ヘッジ方針 外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引に係る為替相場の変動リスク及び金利変動リスクを回避するために、必要な範囲内で利用している。</p> <p>(4) ヘッジの有効性評価の方法 為替予約はヘッジ手段とヘッジ対象に関する重要な条件(通貨、期間、金額等)が同一であり、ヘッジ開始時及びその後も継続して相場変動又はキャッシュ・フロー変動を相殺するものと想定することができるため、ヘッジの有効性の判定は省略している。</p> <p>また、金利スワップは特例処理の適用要件を満たしており有効性が保証されているため、通貨スワップは為替相場の変動によるキャッシュ・フローの変動を完全に相殺するものと想定されるため、ヘッジの有効性の判定は省略している。</p> |
| 7. その他財務諸表作成のための重要な事項 | <p>消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。</p> | <p>消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。</p> |

【注記事項】

(有価証券関係)

(訂正前)

前事業年度(平成21年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはない。

当事業年度(平成22年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式(貸借対照表計上額 子会社株式47,999百万円、関連会社株式179百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載していない。

(訂正後)

前事業年度(平成21年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはない。

当事業年度(平成22年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式(貸借対照表計上額 子会社株式46,718百万円、関連会社株式179百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載していない。

(税効果会計関係)

(訂正前)

| 前事業年度 (平成21年3月31日現在) | 当事業年度 (平成22年3月31日現在) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------|--------|---------|-----|------|-----|-----------|-----|----------|-----|----------|-----|-----|-----|----------|--------------|--------|------------|----------|--------------|--------|-------|------|--|-------------|-----|-------------|-----|--------|-----|-----------|-----|--------|-----|--------------|-----|-----|-----|-------------------|-------------|--|---------|--------|------|-----|-----------|-----|----------|-----|----------|-----|-----|-----|----------|--------------|--------|------------|----------|--------------|--------|-------|------|--|-------------|-----|-------------|-----|--------|-----|-----------|-----|--------|------|--------------|-----|--------|-----|-----|-----|-------------------|-------------|
| <p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (繰延税金資産)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">海外投資等損失引当金</td> <td style="text-align: right;">232百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">502</td> </tr> <tr> <td>未払賞与</td> <td style="text-align: right;">547</td> </tr> <tr> <td>関係会社株式評価損</td> <td style="text-align: right;">117</td> </tr> <tr> <td>たな卸資産評価損</td> <td style="text-align: right;">667</td> </tr> <tr> <td>繰越外国税額控除</td> <td style="text-align: right;">177</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">482</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産小計</td> <td style="text-align: right;"><u>2,724</u></td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;"><u>445</u></td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right;"><u>2,279</u></td> </tr> </table> <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">法定実効税率</td> <td style="text-align: right;">40.5%</td> </tr> <tr> <td>(調整)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損金に算入されない費用</td> <td style="text-align: right;">1.0</td> </tr> <tr> <td>益金に算入されない収益</td> <td style="text-align: right;">6.1</td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">0.8</td> </tr> <tr> <td>試験研究費税額控除</td> <td style="text-align: right;">2.2</td> </tr> <tr> <td>外国税額控除</td> <td style="text-align: right;">9.2</td> </tr> <tr> <td>特定外国子会社留保金課税</td> <td style="text-align: right;">1.8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">2.1</td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right;"><u>27.1</u></td> </tr> </table> | 海外投資等損失引当金 | 232百万円 | 退職給付引当金 | 502 | 未払賞与 | 547 | 関係会社株式評価損 | 117 | たな卸資産評価損 | 667 | 繰越外国税額控除 | 177 | その他 | 482 | 繰延税金資産小計 | <u>2,724</u> | 評価性引当額 | <u>445</u> | 繰延税金資産合計 | <u>2,279</u> | 法定実効税率 | 40.5% | (調整) | | 損金に算入されない費用 | 1.0 | 益金に算入されない収益 | 6.1 | 評価性引当額 | 0.8 | 試験研究費税額控除 | 2.2 | 外国税額控除 | 9.2 | 特定外国子会社留保金課税 | 1.8 | その他 | 2.1 | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>27.1</u> | <p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (繰延税金資産)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">529百万円</td> </tr> <tr> <td>未払賞与</td> <td style="text-align: right;">522</td> </tr> <tr> <td>関係会社株式評価損</td> <td style="text-align: right;">315</td> </tr> <tr> <td>たな卸資産評価損</td> <td style="text-align: right;">401</td> </tr> <tr> <td>繰越外国税額控除</td> <td style="text-align: right;">464</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">589</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産小計</td> <td style="text-align: right;"><u>2,820</u></td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;"><u>382</u></td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right;"><u>2,438</u></td> </tr> </table> <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">法定実効税率</td> <td style="text-align: right;">40.5%</td> </tr> <tr> <td>(調整)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損金に算入されない費用</td> <td style="text-align: right;">3.6</td> </tr> <tr> <td>益金に算入されない収益</td> <td style="text-align: right;">3.0</td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">1.6</td> </tr> <tr> <td>試験研究費税額控除</td> <td style="text-align: right;">6.4</td> </tr> <tr> <td>外国税額控除</td> <td style="text-align: right;">28.4</td> </tr> <tr> <td>特定外国子会社留保金課税</td> <td style="text-align: right;">2.0</td> </tr> <tr> <td>住民税均等割</td> <td style="text-align: right;">1.8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">3.0</td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right;"><u>11.5</u></td> </tr> </table> | 退職給付引当金 | 529百万円 | 未払賞与 | 522 | 関係会社株式評価損 | 315 | たな卸資産評価損 | 401 | 繰越外国税額控除 | 464 | その他 | 589 | 繰延税金資産小計 | <u>2,820</u> | 評価性引当額 | <u>382</u> | 繰延税金資産合計 | <u>2,438</u> | 法定実効税率 | 40.5% | (調整) | | 損金に算入されない費用 | 3.6 | 益金に算入されない収益 | 3.0 | 評価性引当額 | 1.6 | 試験研究費税額控除 | 6.4 | 外国税額控除 | 28.4 | 特定外国子会社留保金課税 | 2.0 | 住民税均等割 | 1.8 | その他 | 3.0 | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>11.5</u> |
| 海外投資等損失引当金 | 232百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付引当金 | 502 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払賞与 | 547 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係会社株式評価損 | 117 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産評価損 | 667 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰越外国税額控除 | 177 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 482 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産小計 | <u>2,724</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | <u>445</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産合計 | <u>2,279</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法定実効税率 | 40.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (調整) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 損金に算入されない費用 | 1.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 益金に算入されない収益 | 6.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | 0.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験研究費税額控除 | 2.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国税額控除 | 9.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特定外国子会社留保金課税 | 1.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 2.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>27.1</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付引当金 | 529百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払賞与 | 522 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係会社株式評価損 | 315 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産評価損 | 401 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰越外国税額控除 | 464 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 589 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産小計 | <u>2,820</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | <u>382</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産合計 | <u>2,438</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法定実効税率 | 40.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (調整) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 損金に算入されない費用 | 3.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 益金に算入されない収益 | 3.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | 1.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験研究費税額控除 | 6.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国税額控除 | 28.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特定外国子会社留保金課税 | 2.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 住民税均等割 | 1.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 3.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>11.5</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(訂正後)

| 前事業年度 (平成21年3月31日現在) | 当事業年度 (平成22年3月31日現在) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------|--------|------|-----|-----------|------------|----------|-----|----------|-----|---------|------------|-----|-----|----------|--------------|--------|--------------|----------|--------------|--------|-------|------|--|-------------|------------|-------------|------------|--------|------------|-----------|------------|--------|-------------|--------------|------------|-----|------------|-------------------|-------------|---|---------|--------|------|-----|-----------|------------|----------|-----|----------|-----|---------|--------------|-----|-----|----------|--------------|--------|--------------|----------|--------------|--------|-------|------|--|-------------|------------|-------------|------------|--------|-------------|-----------|-------------|--------|-------------|--------------|------------|--------|------------|-----|------------|-------------------|-------------|
| <p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>(繰延税金資産)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">502百万円</td> </tr> <tr> <td>未払賞与</td> <td style="text-align: right;">547</td> </tr> <tr> <td>関係会社株式評価損</td> <td style="text-align: right;"><u>636</u></td> </tr> <tr> <td>たな卸資産評価損</td> <td style="text-align: right;">667</td> </tr> <tr> <td>繰越外国税額控除</td> <td style="text-align: right;">177</td> </tr> <tr> <td>関係会社支援損</td> <td style="text-align: right;"><u>893</u></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">482</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産小計</td> <td style="text-align: right;"><u>3,904</u></td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;"><u>1,625</u></td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right;"><u>2,279</u></td> </tr> </table> <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">法定実効税率</td> <td style="text-align: right;">40.5%</td> </tr> <tr> <td>(調整)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損金に算入されない費用</td> <td style="text-align: right;"><u>1.1</u></td> </tr> <tr> <td>益金に算入されない収益</td> <td style="text-align: right;"><u>6.7</u></td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;"><u>3.4</u></td> </tr> <tr> <td>試験研究費税額控除</td> <td style="text-align: right;"><u>2.5</u></td> </tr> <tr> <td>外国税額控除</td> <td style="text-align: right;"><u>10.2</u></td> </tr> <tr> <td>特定外国子会社留保金課税</td> <td style="text-align: right;"><u>2.0</u></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;"><u>2.3</u></td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right;"><u>29.9</u></td> </tr> </table> | 退職給付引当金 | 502百万円 | 未払賞与 | 547 | 関係会社株式評価損 | <u>636</u> | たな卸資産評価損 | 667 | 繰越外国税額控除 | 177 | 関係会社支援損 | <u>893</u> | その他 | 482 | 繰延税金資産小計 | <u>3,904</u> | 評価性引当額 | <u>1,625</u> | 繰延税金資産合計 | <u>2,279</u> | 法定実効税率 | 40.5% | (調整) | | 損金に算入されない費用 | <u>1.1</u> | 益金に算入されない収益 | <u>6.7</u> | 評価性引当額 | <u>3.4</u> | 試験研究費税額控除 | <u>2.5</u> | 外国税額控除 | <u>10.2</u> | 特定外国子会社留保金課税 | <u>2.0</u> | その他 | <u>2.3</u> | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>29.9</u> | <p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>(繰延税金資産)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">529百万円</td> </tr> <tr> <td>未払賞与</td> <td style="text-align: right;">522</td> </tr> <tr> <td>関係会社株式評価損</td> <td style="text-align: right;"><u>834</u></td> </tr> <tr> <td>たな卸資産評価損</td> <td style="text-align: right;">401</td> </tr> <tr> <td>繰越外国税額控除</td> <td style="text-align: right;">464</td> </tr> <tr> <td>関係会社支援損</td> <td style="text-align: right;"><u>1,590</u></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">589</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産小計</td> <td style="text-align: right;"><u>4,929</u></td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;"><u>2,491</u></td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right;"><u>2,438</u></td> </tr> </table> <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">法定実効税率</td> <td style="text-align: right;">40.5%</td> </tr> <tr> <td>(調整)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損金に算入されない費用</td> <td style="text-align: right;"><u>8.6</u></td> </tr> <tr> <td>益金に算入されない収益</td> <td style="text-align: right;"><u>7.3</u></td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;"><u>53.6</u></td> </tr> <tr> <td>試験研究費税額控除</td> <td style="text-align: right;"><u>15.4</u></td> </tr> <tr> <td>外国税額控除</td> <td style="text-align: right;"><u>68.7</u></td> </tr> <tr> <td>特定外国子会社留保金課税</td> <td style="text-align: right;"><u>4.9</u></td> </tr> <tr> <td>住民税均等割</td> <td style="text-align: right;"><u>4.4</u></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;"><u>7.2</u></td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right;"><u>27.8</u></td> </tr> </table> | 退職給付引当金 | 529百万円 | 未払賞与 | 522 | 関係会社株式評価損 | <u>834</u> | たな卸資産評価損 | 401 | 繰越外国税額控除 | 464 | 関係会社支援損 | <u>1,590</u> | その他 | 589 | 繰延税金資産小計 | <u>4,929</u> | 評価性引当額 | <u>2,491</u> | 繰延税金資産合計 | <u>2,438</u> | 法定実効税率 | 40.5% | (調整) | | 損金に算入されない費用 | <u>8.6</u> | 益金に算入されない収益 | <u>7.3</u> | 評価性引当額 | <u>53.6</u> | 試験研究費税額控除 | <u>15.4</u> | 外国税額控除 | <u>68.7</u> | 特定外国子会社留保金課税 | <u>4.9</u> | 住民税均等割 | <u>4.4</u> | その他 | <u>7.2</u> | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>27.8</u> |
| 退職給付引当金 | 502百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払賞与 | 547 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係会社株式評価損 | <u>636</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産評価損 | 667 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰越外国税額控除 | 177 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係会社支援損 | <u>893</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 482 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産小計 | <u>3,904</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | <u>1,625</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産合計 | <u>2,279</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法定実効税率 | 40.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (調整) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 損金に算入されない費用 | <u>1.1</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 益金に算入されない収益 | <u>6.7</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | <u>3.4</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験研究費税額控除 | <u>2.5</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国税額控除 | <u>10.2</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特定外国子会社留保金課税 | <u>2.0</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | <u>2.3</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>29.9</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付引当金 | 529百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払賞与 | 522 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係会社株式評価損 | <u>834</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産評価損 | 401 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰越外国税額控除 | 464 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係会社支援損 | <u>1,590</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 589 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産小計 | <u>4,929</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | <u>2,491</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産合計 | <u>2,438</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法定実効税率 | 40.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (調整) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 損金に算入されない費用 | <u>8.6</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 益金に算入されない収益 | <u>7.3</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | <u>53.6</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験研究費税額控除 | <u>15.4</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国税額控除 | <u>68.7</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特定外国子会社留保金課税 | <u>4.9</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 住民税均等割 | <u>4.4</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | <u>7.2</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | <u>27.8</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(1株当たり情報)

(訂正前)

| 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | | 当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) | |
|--|-----------|--|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 1,104.42円 | 1株当たり純資産額 | 1,114.04円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 80.26円 | 1株当たり当期純利益金額 | 34.17円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 80.25円 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 34.17円 |
| 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。 | | 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。 | |
| 1株当たり当期純利益金額 | | 1株当たり当期純利益金額 | |
| 当期純利益(百万円) | 8,136 | 当期純利益(百万円) | 3,464 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - |
| 普通株式に係る当期純利益(百万円) | 8,136 | 普通株式に係る当期純利益(百万円) | 3,464 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 101,382 | 普通株式の期中平均株式数(千株) | 101,398 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | |
| 当期純利益調整額(百万円) | - | 当期純利益調整額(百万円) | - |
| 普通株式増加数(千株) | 10 | 普通株式増加数(千株) | 2 |
| (うち新株予約権(千株)) | 10 | (うち新株予約権(千株)) | 2 |

(訂正後)

| 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) | | 当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) | |
|--|-----------|--|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 1,075.70円 | 1株当たり純資産額 | 1,062.68円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 69.90円 | 1株当たり当期純利益金額 | 11.52円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 69.89円 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 11.52円 |
| 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。 | | 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。 | |
| 1株当たり当期純利益金額 | | 1株当たり当期純利益金額 | |
| 当期純利益(百万円) | 7,086 | 当期純利益(百万円) | 1,168 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - |
| 普通株式に係る当期純利益(百万円) | 7,086 | 普通株式に係る当期純利益(百万円) | 1,168 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 101,382 | 普通株式の期中平均株式数(千株) | 101,398 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | |
| 当期純利益調整額(百万円) | - | 当期純利益調整額(百万円) | - |
| 普通株式増加数(千株) | 10 | 普通株式増加数(千株) | 2 |
| (うち新株予約権(千株)) | 10 | (うち新株予約権(千株)) | 2 |

【附属明細表】

【引当金明細表】

(訂正前)

| 区分 | 前期末残高 (百万円) | 当期増加額 (百万円) | 当期減少額 (目的使用) (百万円) | 当期減少額 (その他) (百万円) | 当期末残高 (百万円) |
|------------|----------------|----------------|--------------------------|-------------------------|----------------|
| 貸倒引当金 | 20 | 20 | - | 20 | 20 |
| 海外投資等損失引当金 | 574 | - | - | 574 | - |
| 役員賞与引当金 | 83 | 90 | 82 | 0 | 90 |
| 役員退職慰労引当金 | 385 | 95 | 9 | - | 471 |

(注) 1. 貸倒引当金の「当期減少額(その他)」は、洗い替えによる戻入20百万円である。

2. 海外投資損失引当金の「当期減少額(その他)」は、子会社の財政状態が改善したことによる取崩額である。

3. 役員賞与引当金の「当期減少額(その他)」は、支給差額である。

(訂正後)

| 区分 | 前期末残高 (百万円) | 当期増加額 (百万円) | 当期減少額 (目的使用) (百万円) | 当期減少額 (その他) (百万円) | 当期末残高 (百万円) |
|-------------|----------------|----------------|--------------------------|-------------------------|----------------|
| 貸倒引当金 | 1,039 | 1,802 | - | 1,039 | 1,802 |
| 役員賞与引当金 | 83 | 90 | 82 | 0 | 90 |
| 役員退職慰労引当金 | 385 | 95 | 9 | - | 471 |
| 関係会社支援損失引当金 | 1,185 | 958 | - | - | 2,144 |

(注) 1. 貸倒引当金の「当期減少額(その他)」は、洗い替えによる戻入1,039百万円である。

2. 役員賞与引当金の「当期減少額(その他)」は、支給差額である。

3. 関係会社支援損失引当金の「当期増加額」は、損失負担見込み額の増加によるものである。

(2) 【主な資産及び負債の内容】

(訂正前)

現金及び預金

| 区分 | 金額(百万円) |
|------|---------|
| 現金 | - |
| 預金 | 1,743 |
| 普通預金 | 1,743 |
| 合計 | 1,743 |

受取手形

| 相手先 | 金額(百万円) |
|------------|---------|
| 東京支店等関係特約店 | 339 |
| デンカ生研(株) | 32 |
| (株)田崎製作所 | 14 |
| (株)平井カンパニー | 13 |
| その他 | 35 |
| 合計 | 436 |

期日別内訳

| 期日 | 平成22年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 合計 |
|---------|---------|-----|-----|----|-----|
| 金額(百万円) | 178 | 122 | 134 | 2 | 436 |

売掛金

| 相手先 | 金額(百万円) |
|---------------------------------------|---------|
| 日立工機販売(株) | 5,530 |
| 東京支店等関係特約店 | 4,188 |
| Hitachi Koki Asia Co., Ltd. | 1,716 |
| Hitachi Power Tools Europe GmbH. | 548 |
| Hitachi Power Tools Oesterreich GmbH. | 511 |
| その他 | 4,585 |
| 合計 | 17,080 |

(注) 印は関係会社である。

売掛金の発生及び回収並びに滞留状況

| 前期繰越高 (百万円) | 当期発生高 (百万円) | 当期回収高 (百万円) | 次期繰越高 (百万円) | 回収率(%) | 滞留期間(日) (A) + (D) |
|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------------------------|----------------------|
| (A) | (B) | (C) | (D) | $\frac{(C)}{(A) + (B)} \times 100$ | 2 (B) 365 |
| 17,679 | 50,794 | 51,393 | 17,080 | 75 | 125 |

(注) 消費税等の会計処理は税抜方式を採用しているが、上記「当期発生高」には消費税等が含まれている。

たな卸資産

| | 製品(百万円) | 半製品(百万円) | 材料(百万円) | 仕掛品(百万円) | 合計(百万円) |
|----------------|---------|----------|---------|----------|---------|
| 電動工具 | 7,388 | 1,206 | 305 | 837 | 9,737 |
| ライフサイエンス 機器 | 402 | 136 | 83 | 303 | 926 |
| 合計 | 7,790 | 1,343 | 389 | 1,141 | 10,664 |

関係会社短期貸付金

| 銘柄 | 金額(百万円) |
|---------------------------------------|---------|
| Hitachi Power Tools Oesterreich GmbH. | 3,085 |
| (株)日工タナカエンジニアリング | 2,500 |
| Hitachi Power Tools Europe GmbH. | 1,234 |
| Hitachi Power Tools Polska Sp.zo.o. | 821 |
| Hitachi Power Tools France S.A.S | 617 |
| その他6社 | 2,061 |
| 合計 | 10,319 |

関係会社預け金

| 相手先 | 金額(百万円) |
|----------|---------|
| (株)日立製作所 | 12,735 |
| 計 | 12,735 |

(注) 印は親会社である。

関係会社株式

| 銘柄 | 金額(百万円) |
|--------------------------------------|---------|
| (子会社株式) | |
| Hitachi Koki U.S.A., Ltd. | 14,517 |
| Hitachi Power Tools Netherlands B.V. | 4,928 |
| Carat International B.V. | 4,103 |
| 三京ダイヤモンド工業(株) | 3,556 |
| Hitachi Koki Asia Co., Ltd. | 2,943 |
| その他28社 | 17,950 |
| (関連会社株式) | |
| ETG Limited | 179 |
| (親会社株式) | |
| (株)日立製作所 | 42 |
| 合計 | 48,222 |

買掛金

| 相手先 | 金額(百万円) |
|-----------------------------|---------|
| 日立キャピタル(株) | 478 |
| (株)日工タナカエンジニアリング | 381 |
| Hitachi Koki Asia Co., Ltd. | 367 |
| 日工ソリューションズ(株) | 166 |
| 三京ダイヤモンド工業(株) | 129 |
| その他 | 1,953 |
| 合計 | 3,476 |

- (注) 1. 日立キャピタル(株)に対する買掛金残高は、当社の一部仕入先への支払業務を日立キャピタル(株)に委託し、当該仕入先が当社に対する売掛債権を日立キャピタル(株)に債権譲渡した支払債務である。
2. 印は関係会社である。

(訂正後)

現金及び預金

| 区分 | 金額(百万円) |
|------|---------|
| 現金 | - |
| 預金 | 1,743 |
| 普通預金 | 1,743 |
| 合計 | 1,743 |

受取手形

| 相手先 | 金額(百万円) |
|------------|---------|
| 東京支店等関係特約店 | 339 |
| デンカ生研(株) | 32 |
| (株)田崎製作所 | 14 |
| (株)平井カンパニー | 13 |
| その他 | 35 |
| 合計 | 436 |

期日別内訳

| 期日 | 平成22年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 合計 |
|---------|---------|-----|-----|----|-----|
| 金額(百万円) | 178 | 122 | 134 | 2 | 436 |

売掛金

| 相手先 | 金額(百万円) |
|---------------------------------------|---------|
| 日立工機販売(株) | 5,530 |
| 東京支店等関係特約店 | 4,188 |
| Hitachi Koki Asia Co., Ltd. | 1,716 |
| Hitachi Power Tools Europe GmbH. | 548 |
| Hitachi Power Tools Oesterreich GmbH. | 511 |
| その他 | 4,585 |
| 合計 | 17,080 |

(注) 印は関係会社である。

売掛金の発生及び回収並びに滞留状況

| 前期繰越高 (百万円) | 当期発生高 (百万円) | 当期回収高 (百万円) | 次期繰越高 (百万円) | 回収率(%) | 滞留期間(日) (A) + (D) |
|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------------------------|----------------------|
| (A) | (B) | (C) | (D) | $\frac{(C)}{(A) + (B)} \times 100$ | 2 (B) 365 |
| 17,679 | 50,794 | 51,393 | 17,080 | 75 | 125 |

(注) 消費税等の会計処理は税抜方式を採用しているが、上記「当期発生高」には消費税等が含まれている。

たな卸資産

| | 製品(百万円) | 半製品(百万円) | 材料(百万円) | 仕掛品(百万円) | 合計(百万円) |
|----------------|---------|----------|---------|----------|---------|
| 電動工具 | 7,388 | 1,206 | 305 | 837 | 9,737 |
| ライフサイエンス 機器 | 402 | 136 | 83 | 303 | 926 |
| 合計 | 7,790 | 1,343 | 389 | 1,141 | 10,664 |

関係会社短期貸付金

| 銘柄 | 金額(百万円) |
|---------------------------------------|---------|
| Hitachi Power Tools Oesterreich GmbH. | 3,085 |
| (株)日工タナカエンジニアリング | 2,500 |
| Hitachi Power Tools Europe GmbH. | 1,234 |
| Hitachi Power Tools Polska Sp.zo.o. | 821 |
| Hitachi Power Tools France S.A.S | 617 |
| その他6社 | 2,061 |
| 合計 | 10,319 |

関係会社預け金

| 相手先 | 金額(百万円) |
|----------|---------|
| (株)日立製作所 | 12,735 |
| 計 | 12,735 |

(注) 印は親会社である。

関係会社株式

| 銘柄 | 金額(百万円) |
|--------------------------------------|---------|
| (子会社株式) | |
| Hitachi Koki U.S.A., Ltd. | 14,517 |
| Hitachi Power Tools Netherlands B.V. | 4,928 |
| Carat International B.V. | 4,103 |
| 三京ダイヤモンド工業(株) | 3,556 |
| Hitachi Koki Asia Co., Ltd. | 2,943 |
| その他28社 | 16,668 |
| (関連会社株式) | |
| ETG Limited | 179 |
| (親会社株式) | |
| (株)日立製作所 | 42 |
| 合計 | 46,940 |

買掛金

| 相手先 | 金額(百万円) |
|-----------------------------|---------|
| 日立キャピタル(株) | 478 |
| (株)日工タナカエンジニアリング | 381 |
| Hitachi Koki Asia Co., Ltd. | 367 |
| 日工ソリューションズ(株) | 166 |
| 三京ダイヤモンド工業(株) | 129 |
| その他 | 1,953 |
| 合計 | 3,476 |

(注) 1. 日立キャピタル(株)に対する買掛金残高は、当社の一部仕入先への支払業務を日立キャピタル(株)に委託し、当該仕入先が当社に対する売掛債権を日立キャピタル(株)に債権譲渡した支払債務である。

2. 印は関係会社である。

独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

平成22年11月12日

日立工機株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林 雅彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古山 和則 印

< 財務諸表監査 >

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている日立工機株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の訂正報告書の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日立工機株式会社及び連結子会社の平成21年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

有価証券報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の連結財務諸表について監査を行った。

< 内部統制監査 >

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第2項の規定に基づく監査証明を行うため、日立工機株式会社の平成21年3月31日現在の内部統制報告書の訂正報告書について監査を行った。財務報告に係る内部統制を整備及び運用並びに内部統制報告書を作成する責任は、経営者にあり、当監査法人の責任は、独立の立場から内部統制報告書に対する意見を表明することにある。また、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性がある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の監査の基準に準拠して内部統制監査を行った。財務報告に係る内部統制の監査の基準は、当監査法人に内部統制報告書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。内部統制監査は、試査を基礎として行われ、財務報告に係る内部統制の評価範囲、評価手続及び評価結果についての、経営者が行った記載を含め全体としての内部統制報告書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、内部統制監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、日立工機株式会社が平成21年3月31日現在の財務報告に係る内部統制は重要な欠陥があるため有効でないと表示した上記の内部統制報告書が、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して、財務報告に係る内部統制の評価について、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

1. 内部統制報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の5第1項の規定に基づき内部統制報告書を訂正している。当監査法人は訂正後の内部統制報告書について監査を行った。
2. 内部統制報告書の訂正報告書に記載されているとおり、会社は、海外関係会社の取締役会の機能が充分には発揮されなかったこと、会社の関係会社管理体制に係る内部統制制度が整備面で不足し、運用面において十分な機能を発揮することができていなかったこと、内部通報制度の運用が充分に機能できていなかったこと及びコンプライアンス遵守の周知と徹底が充分ではなかったことが重要な欠陥に該当すると判断している。当該重要な欠陥から生じた不適切な経理処理に係る必要な修正は訂正後の連結財務諸表に反映されており、財務諸表監査において、当該重要な欠陥の影響を考慮して監査手続を実施したため、これによる財務諸表監査の意見に及ぼす影響はない。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管している。

連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていない。

独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

平成22年11月12日

日立工機株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 関 口 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大内田 敬 印

< 財務諸表監査 >

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている日立工機株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日立工機株式会社及び連結子会社の平成22年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

有価証券報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の連結財務諸表について監査を行った。

< 内部統制監査 >

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第2項の規定に基づく監査証明を行うため、日立工機株式会社の平成22年3月31日現在の内部統制報告書について監査を行った。財務報告に係る内部統制を整備及び運用並びに内部統制報告書を作成する責任は、経営者にあり、当監査法人の責任は、独立の立場から内部統制報告書に対する意見を表明することにある。また、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性がある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の監査の基準に準拠して内部統制監査を行った。財務報告に係る内部統制の監査の基準は、当監査法人に内部統制報告書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。内部統制監査は、試査を基礎として行われ、財務報告に係る内部統制の評価範囲、評価手続及び評価結果についての、経営者が行った記載を含め全体としての内部統制報告書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、内部統制監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、日立工機株式会社が平成22年3月31日現在の財務報告に係る内部統制は重要な欠陥があるため有効でないと表示した上記の内部統制報告書が、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して、財務報告に係る内部統制の評価について、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

- 内部統制報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の5第1項の規定に基づき内部統制報告書を訂正している。当監査法人は訂正後の内部統制報告書について監査を行った。
- 内部統制報告書の訂正報告書に記載されているとおり、関係会社管理体制等の内部統制制度に重要な欠陥があり、会社は連結財務諸表の訂正を行った。この結果、必要な修正は訂正後の連結財務諸表に反映されており、これによる財務諸表監査の意見に及ぼす影響はない。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管している。

連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていない。

独立監査人の監査報告書

平成22年11月12日

日立工機株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 小林 雅彦
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 古山 和則
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている日立工機株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第87期事業年度の訂正報告書の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日立工機株式会社の平成21年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

有価証券報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の財務諸表について監査を行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管している。

財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。

独立監査人の監査報告書

平成22年11月12日

日立工機株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 関 口 茂 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 大内田 敬 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている日立工機株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第88期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日立工機株式会社の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

有価証券報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の財務諸表について監査を行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管している。

財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。